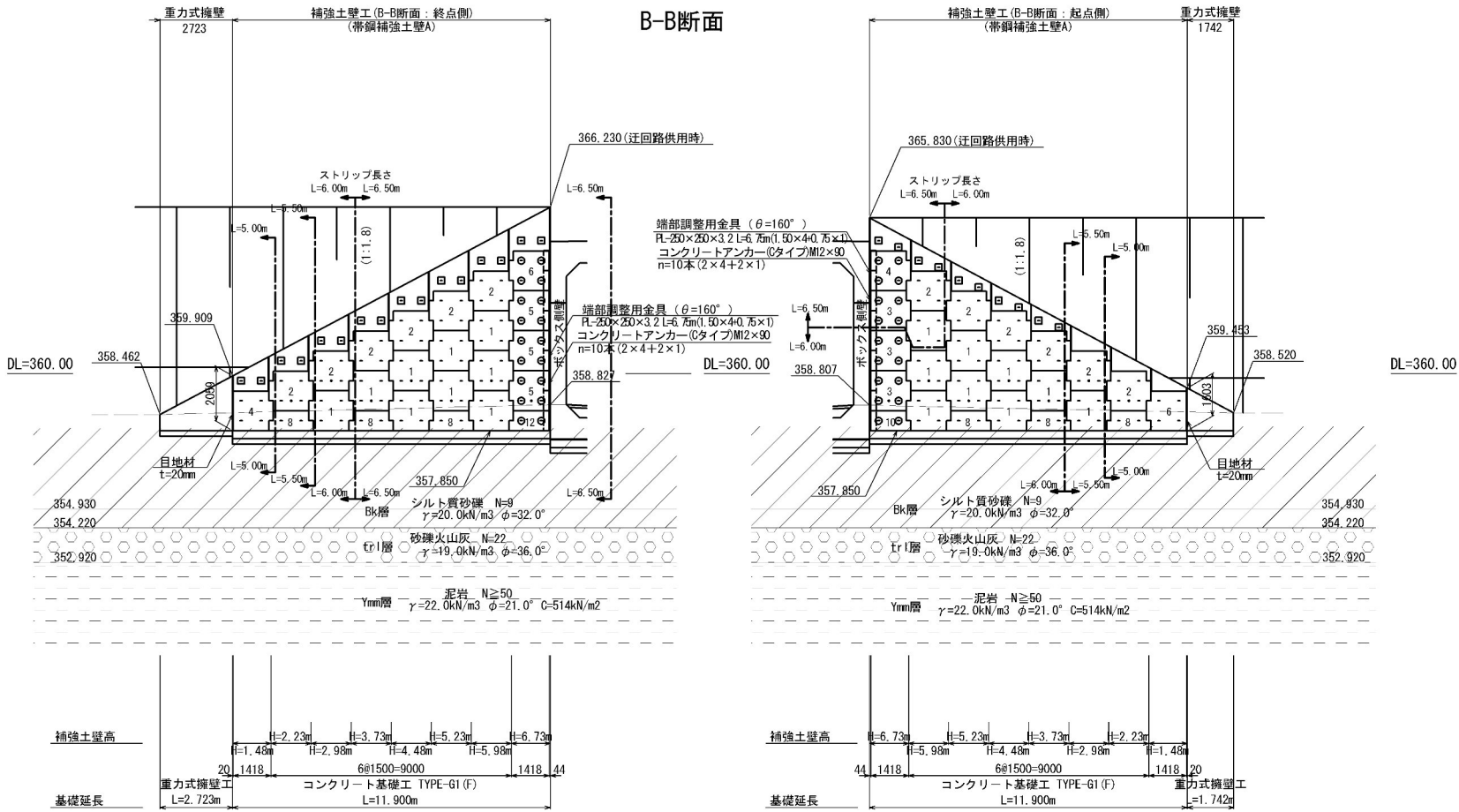
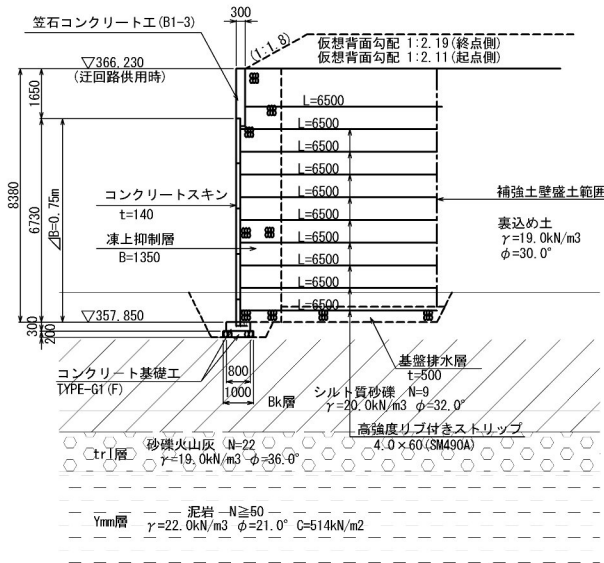


②補強土壁工詳細図（１） S=1：250  
(STA. 811+42.088 C-Bx(P)-(12.00+12.00)x5.80)

正面展開図



標準断面図



材 料 表

①(B-B断面：起点側)		番号	規 格	単位	数量	摘 要
コンクリートスキン	1	AN4		枚	9	t=140mm
	2	AU4		〃	6	t=140mm
	3	GLN4		〃	3	t=140mm
	4	GLU4		〃	1	t=140mm
	6	CRU4		〃	1	〃
	8	BD2		〃	3	〃
	10	DLD2		〃	1	〃
	総面積			m <sup>2</sup>	48.588	
	高強度リブ付ストリップ <sup>※</sup> (SM490A材)			m	696.00	SM490A材
	※印は2本ジョイント			m	771.00	SM490A材
ボルトナット		M12×40	本	232	垂鉛メッキ付	
ガゼットプレート		6.0×115×500	枚	18	垂鉛メッキ付	
透水防砂材		4t×420×L	m	40		
水平目地材		20t×75×600	枚	32		
目地材		20t×140×L	m	2		
端部調整金具		PL-250×250×3.2(θ=160°)	m	6.75	(1.50×4.0.75×1)	
コンクリートアンカー		(0947)M12×90	本	10		
角座金		PL-60×60×6	枚	10		
コネクティブストリップ		6.0×60×428	枚	10	垂鉛メッキ付	

材 料 表

②(B-B断面：終点側)		番号	規 格	単位	数量	摘 要
コンクリートスキン	1	AN4		枚	9	t=140mm
	2	AU4		〃	6	t=140mm
	4	GLU4		〃	1	t=140mm
	5	CRN4		〃	3	t=140mm
	6	CRU4		〃	1	t=140mm
	8	BD2		〃	3	〃
	12	DRD2		〃	1	〃
	総面積			m <sup>2</sup>	48.588	
	高強度リブ付ストリップ <sup>※</sup> (SM490A材)			m	696.00	SM490A材
	※印は2本ジョイント			m	771.00	SM490A材
ボルトナット		M12×40	本	244	垂鉛メッキ付	
ガゼットプレート		6.0×115×500	枚	18	垂鉛メッキ付	
透水防砂材		4t×420×L	m	40		
水平目地材		20t×75×600	枚	32		
目地材		20t×140×L	m	2		
端部調整金具		PL-250×250×3.2(θ=160°)	m	6.75	(1.50×4.0.75×1)	
コンクリートアンカー		(0947)M12×90	本	10		
角座金		PL-60×60×6	枚	10		
コネクティブストリップ		6.0×60×428	枚	16	垂鉛メッキ付	

補強土壁工 設計条件

内 的 安 定 検 討	最高壁高（補強土壁高）	Hmax=6.73m	
	盛土材の土質定数	$\gamma=19.0\text{ kN/m}^3$ , $\phi=30^\circ$ , $c=0\text{ kN/m}^2$	
	土とストリップとの摩擦係数	$f=1.5\sim\tan 36^\circ$	
	設計水平震度	$kh=0.14$	
外 的 安 定 検 討	安全率	常時	地震時
	ストリップの引抜げに対し	2.0	1.2
	盛土材の土質定数	$\gamma=19.0\text{ kN/m}^3$ , $\phi=30^\circ$ , $c=0\text{ kN/m}^2$	
	設計水平震度	$kh=0.14$	
全 体 安 定 検 討	安全率	常時	地震時
	滑動に対して	1.50	1.20
	転倒に対しての安定条件 注1)	$e\leq L/6$	$e\leq L/3$
	支持力に対して	3.0	2.0
全 体 安 定 検 討	盛土材の土質定数	$\gamma=19.0\text{ kN/m}^3$ , $\phi=30^\circ$ , $c=10\text{ kN/m}^2$	
	設計水平震度	$kh=0.14$	
	安全率	常時	地震時
	すべり破壊に対して	1.25	1.00

注1) eは偏心距離、Lは補強土壁底面の幅

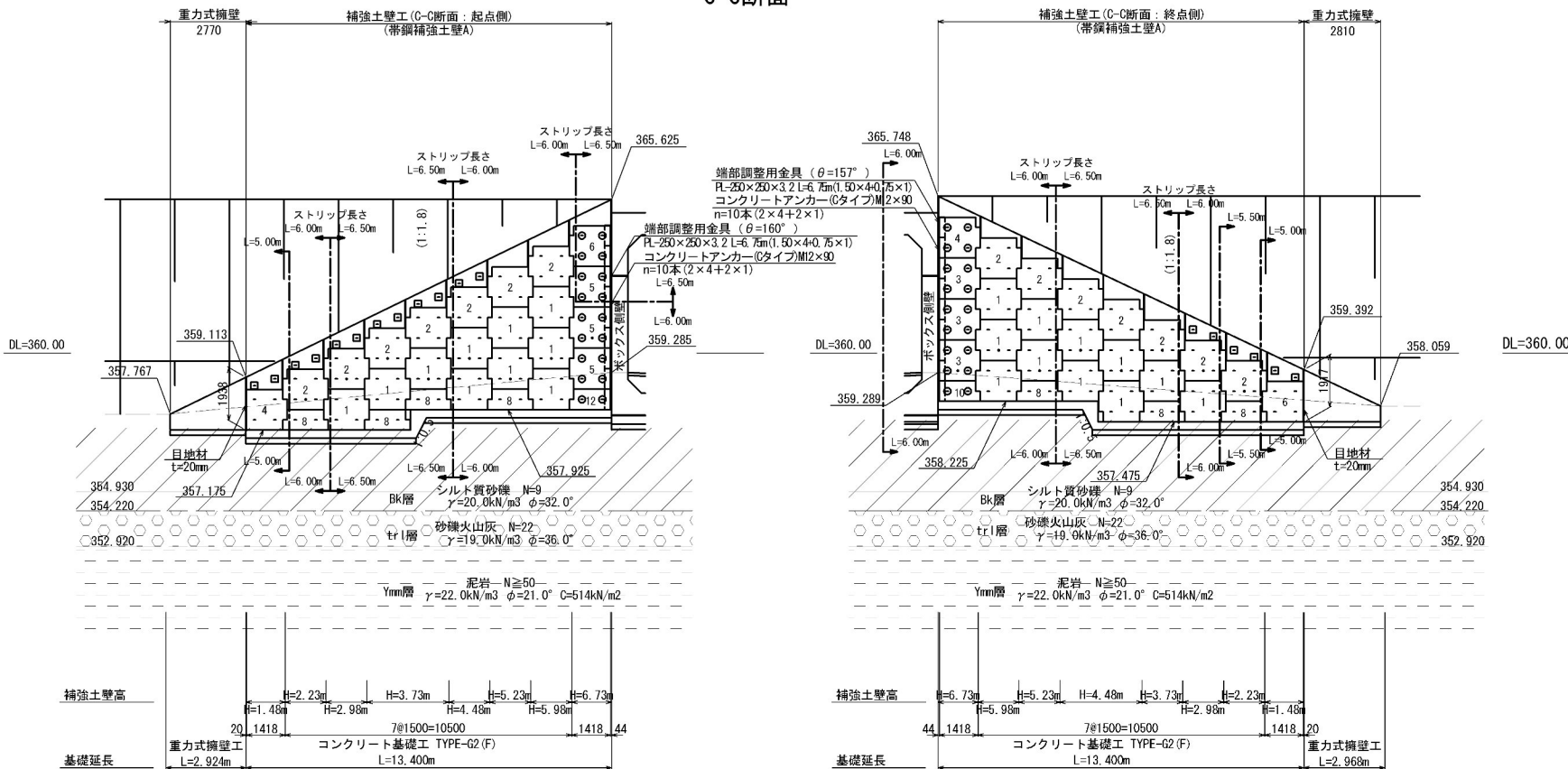
ストリップ記号一覧表

記号	ストリップ敷設方法
—	ストリップ 4.0×60（設計長）を敷設する。
□	コネクティブストリップの取付け位置を示し、補助ストリップ（最上段部の設計長）を壁直角方向に敷設する。
○	補助ストリップ（各段部の設計長）取付け位置を示す。

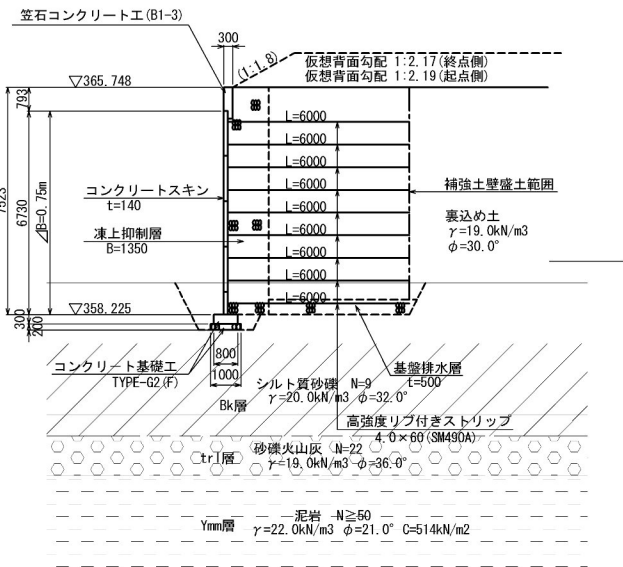
道 東 自 動 車 道 占 冠 P A 工 事			
図面の種類	②補強土壁工詳細図（１）		
縮 尺	1：250	図面番号	—
設計会社名	株式会社 横浜コンサルティングセンター		
施工会社名			
事務所名	東日本高速道路株式会社 北海道支社 帯 広 工 事 事 務 所		

正面展開図

C-C断面



標準断面図



ストリップ記号一覧表

記号	ストリップ敷設方法
—	ストリップ 4.0×60（設計長）を敷設する。
□	コネクティブストリップの取付け位置を示し、補助ストリップ（最上段部の設計長）を壁直角方向に敷設する。
○	補助ストリップ（各段部の設計長）取付け位置を示す。

補強土壁工 設計条件

内的 安定 検討	最高壁高（補強土壁高）	Hmax=6.73m	
	盛土材の土質定数	$\gamma=19.0\text{ kN/m}^3$ , $\phi=30^\circ$ , $c=0\text{ kN/m}^2$	
	土とストリップとの摩擦係数	$f=1.5\sim\tan 36^\circ$	
	設計水平震度	$kh=0.14$	
外的 安定 検討	安全率	常時	地震時
	ストリップの引抜けに対し	2.0	1.2
	盛土材の土質定数	$\gamma=19.0\text{ kN/m}^3$ , $\phi=30^\circ$ , $c=0\text{ kN/m}^2$	
	設計水平震度	$kh=0.14$	
	安全率	常時	地震時
	滑動に対して	1.50	1.20
全体 安定 検討	転倒に対しての安定条件 注1)	$e\leq L/6$	$e\leq L/3$
	支持力に対して	3.0	2.0
	盛土材の土質定数	$\gamma=19.0\text{ kN/m}^3$ , $\phi=30^\circ$ , $c=10\text{ kN/m}^2$	
	設計水平震度	$kh=0.14$	
	安全率	常時	地震時
	すべり破壊に対して	1.25	1.00

注1) eは偏心距離、Lは補強土壁底面の幅

材 料 表

③(C-C断面：起点側)

項 目	番号	規 格	単位	数量	摘 要
コンクリートスキン	1	AN4	枚	10	t=140mm 内防水遮き片取
	2	AU4	"	7	t=140mm 内防水遮き片取
	4	GLU4	"	1	t=140mm 内防水遮き片取
	5	CRN4	"	3	t=140mm 内防水遮き片取
	6	CRU4	"	1	t=140mm 内防水遮き片取
	8	BD2	"	4	"
	12	DRD2	"	1	"
	総面積		m <sup>2</sup>	54.183	
	4.0×60 L=5.00 m		本	6	垂鉛メキ付
	" L=5.50 m		"	—	"
高強度リブ付 ストリップ <sup>+</sup> (SM490A材)	" L=6.00 m		"	72	"
	" L=6.50 m		"	50	"
	総延長		m	787.00	SM490A材
	ボルトナット		M12×40	本	256 垂鉛メキ付
ガゼットプレート	6.0×115×500		枚	18	垂鉛メキ付
	透水防砂材		4t×420×L	m	50
	水平目地材		20t×75×600	枚	36
	目地材		20t×140×L	m	2
端部調整金具	PL-250×250×3.2(θ=60°)		m	6.75	(1.50×4.0.75×1)
	コンクリートアンカー		(φ97) M12×90	本	10
角座金	PL-60×60×6		枚	10	
	コネクティブストリップ		6.0×60×428	枚	12 垂鉛メキ付

材 料 表

④(C-C断面：終点側)

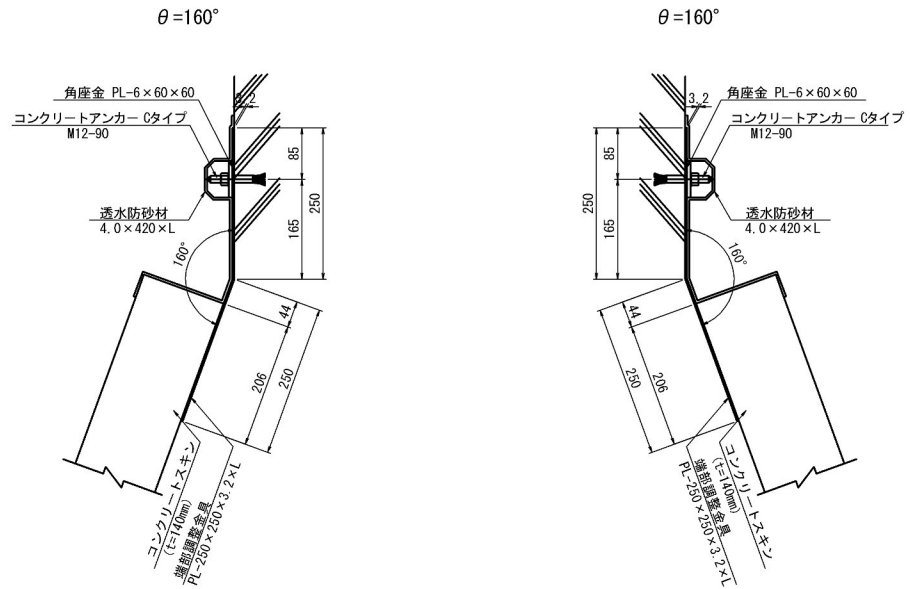
項 目	番号	規 格	単位	数量	摘 要
コンクリートスキン	1	AN4	枚	11	t=140mm 内防水遮き片取
	2	AU4	"	7	t=140mm 内防水遮き片取
	3	CLN4	"	3	t=140mm 内防水遮き片取
	4	CLU4	"	1	t=140mm 内防水遮き片取
	6	CRU4	"	1	"
	8	BD2	"	3	"
	10	DLD2	"	1	"
	総面積		m <sup>2</sup>	55.308	
	4.0×60 L=5.00 m		本	6	垂鉛メキ付
	" L=5.50 m		"	8	"
高強度リブ付 ストリップ <sup>+</sup> (SM490A材)	" L=6.00 m		"	76	"
	" L=6.50 m		"	34	"
	総延長		m	751.00	SM490A材
	ボルトナット		M12×40	本	248 垂鉛メキ付
ガゼットプレート	6.0×115×500		枚	18	垂鉛メキ付
	透水防砂材		4t×420×L	m	50
	水平目地材		20t×75×600	枚	36
	目地材		20t×140×L	m	2
端部調整金具	PL-250×250×3.2(θ=60°)		m	6.75	(1.50×4.0.75×1)
	コンクリートアンカー		(φ97) M12×90	本	10
角座金	PL-60×60×6		枚	10	
	コネクティブストリップ		6.0×60×428	枚	6 垂鉛メキ付

道 東 自 動 車 道  
占 冠 P A 工 事

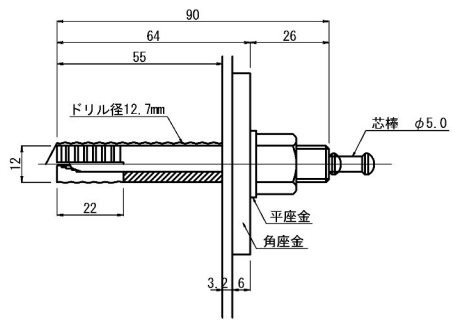
図面の種類	②補強土壁工詳細図（２）		
縮 尺	1：250	図面番号	—
設計会社名	株式会社 横浜コンサルティングセンター		
施工会社名			
事務所名	東日本高速道路株式会社 北海道支社 帯 広 工 事 事 務 所		

②補強土壁工詳細図 (3) S=1:250  
(STA. 811+42.088 C-Bx(P)-(12.00+12.00)x5.80)

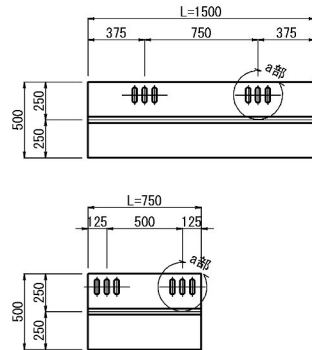
端部取付詳細図 S=1 : 5



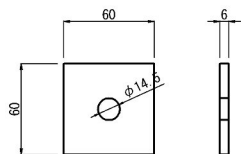
コンクリートアンカー Cタイプ S=1 : 1  
(M12-90)  
公称重量 91g/セット



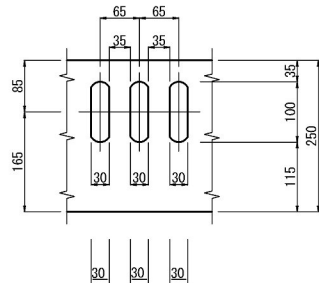
端部調整金具 S=1 : 20  
(PL-250×250×3.2×L SS400)



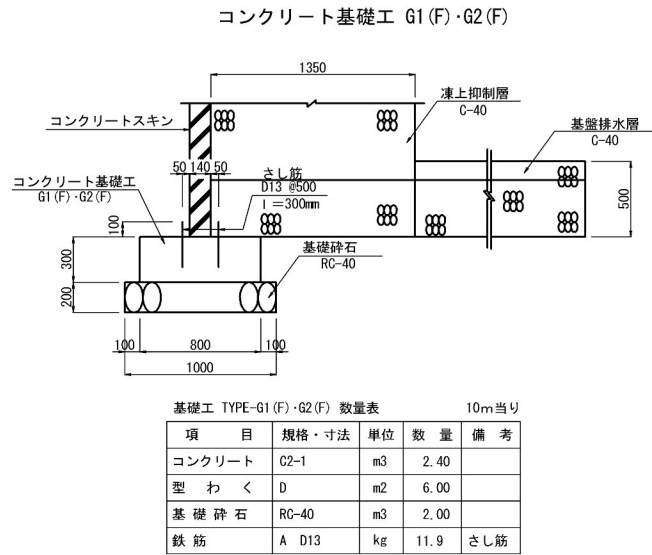
角 座 金  $S=1:2$   
(PL-6×60×60 SS400)  
公称重量 165g/枚



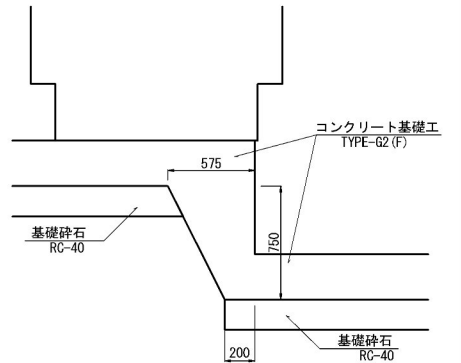
a 部 詳 細 図 S=1 : 5



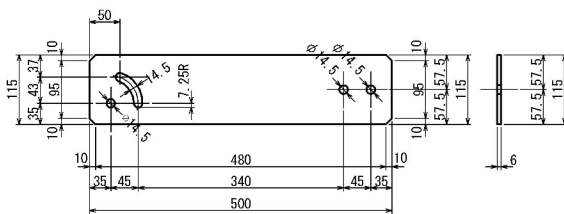
基礎工詳細図 S=1 : 20



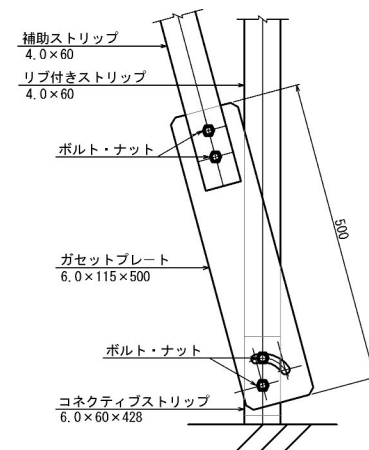
TYPE G2 (F) 段差部詳細図 S=1 : 20



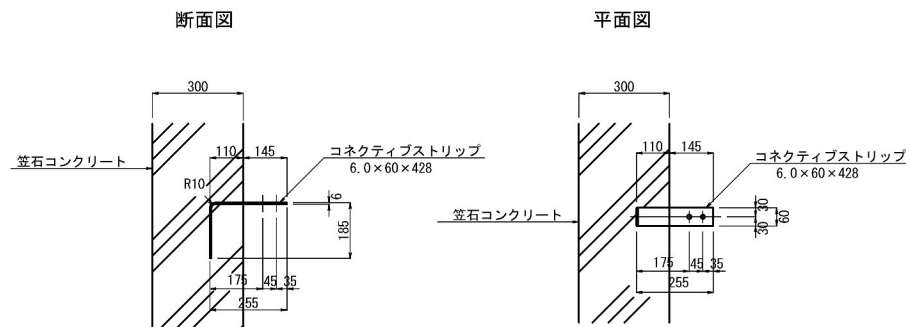
ガセットプレート S=1:5  
6.0×115×500



補助ストリップ敷設時



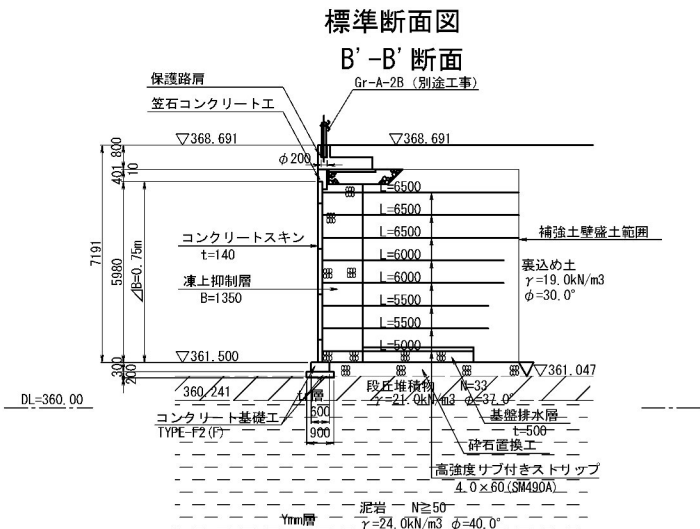
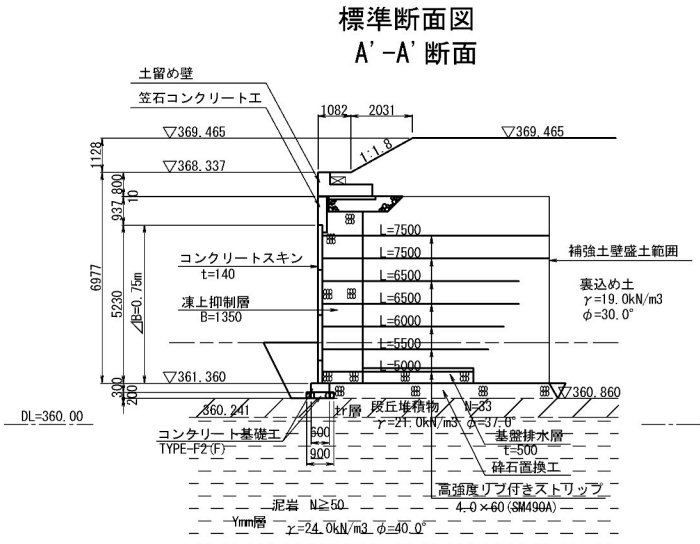
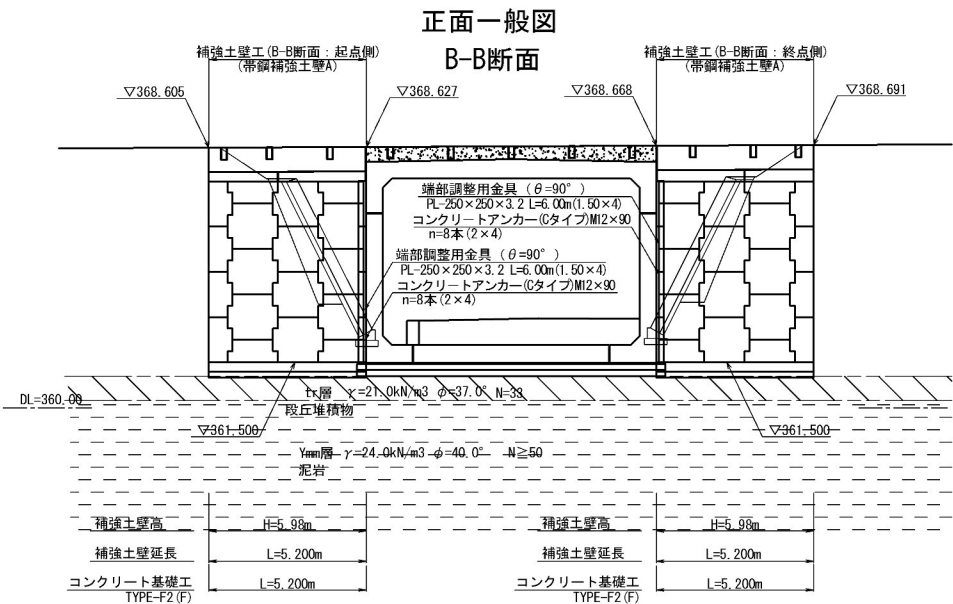
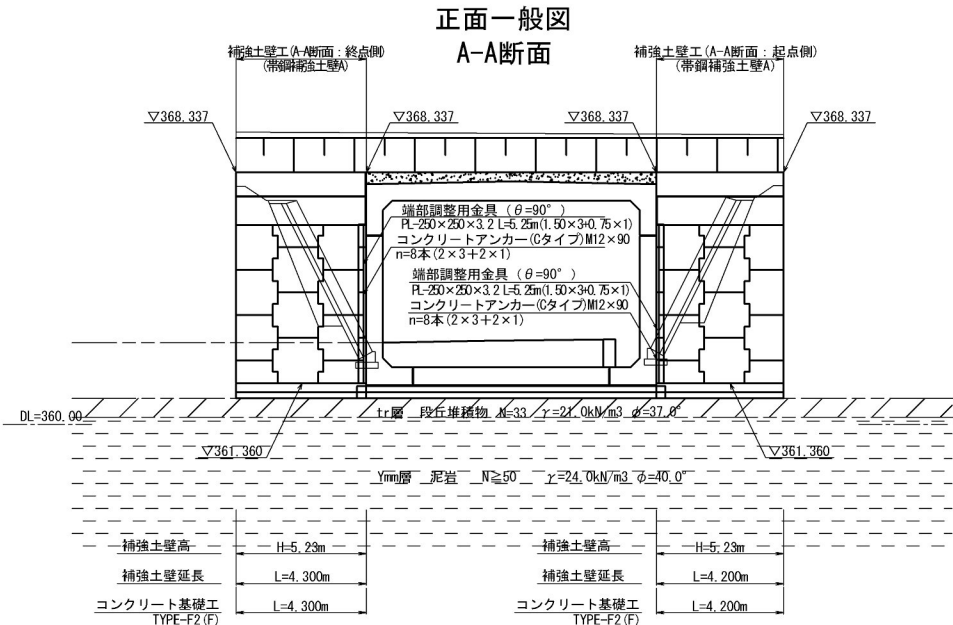
コネクティブストリップ 取付け詳細図 S=1:10



注) コネクティブストリップの取付け方については、上図の様に  
コンリート背面より145mm出して配置する。

道 東 自 動 車 道 占 冠 P A 工 事			
図面の種類	②補強土壁工詳細図（３）		
縮 尺	図 示	図面番号	-
設計会社名	株式会社 横浜コンサルティングセンター		
施工会社名			
事務所名	東日本高速道路株式会社 北海道支社 帯 広 工 事 事 務 所		

③補強土壁工一般図 S=1 : 500  
(STA. 818+91.720 C-Bx(P)-8.50x5.50)

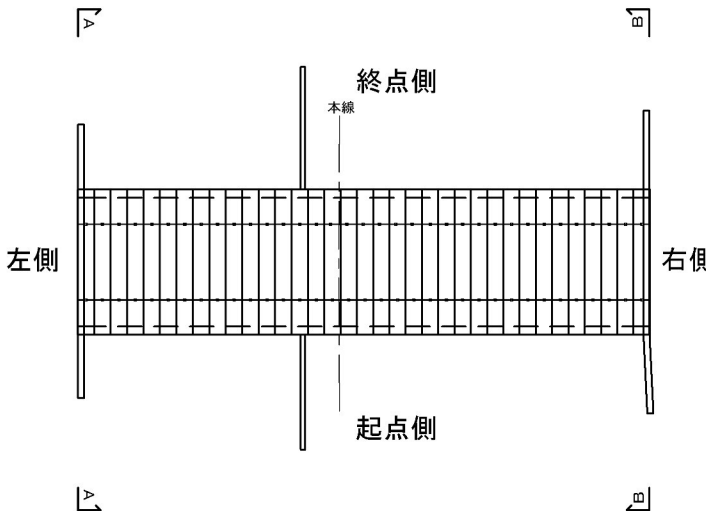


補強土壁工数量表

項 目	種 別	規格-寸法	単位	数 量					合 計	摘 要
				①	②	③	④			
				A-A:起点	A-A:終点	B-B:起点	B-B:終点			
帯鋼補強土壁A	コンクリートスキン	t=140mm	m2	21.5	22.1	30.6	30.6	104.8		
	笠石コンクリート		m2	3.9	4.0	1.7	2.0	11.6		
	合計		m2	25.4	26.1	32.3	32.6	116.4		
笠石コンクリート工 ※	コンクリート	B1-3	m3	1.4	1.4	0.7	0.8	4.3		
	型わく	C	m2	9.9	10.1	5.8	6.5	32.3		
	目地材	t=20mm	m2	0.3	0.3	0.3	0.3	1.2		
	鉄筋	A   D13	kg	76	78	51	54	259		
	基礎排水層	C-40	m3	7.6	7.7	9.4	9.4	34.1		
コンクリート基礎工	TYPE-F2(F)		m	4.2	4.3	5.2	5.2	18.9		
砕石置換工	RG-40		m3	16.0	16.3	15.6	15.6	63.5		
土留め壁		H=0.80m	m	4.2	4.3	5.2	5.2	18.9		
盛土工 A 3	凍上抑制層		m3	31.9	32.7	41.1	41.1	146.8		
表込め	補強土壁盛土		m3	149.5	153.1	159.1	159.1	620.8	現地発生材	

※補強土壁工面積に含む

位置図



道 東 自 動 車 道 占 冠 P A 工 事			
図面の種類	③補強土壁工一般図		
縮 尺	1:500	図面番号	-
設計会社名	株式会社 横浜コンサルティングセンター		
施工会社名			
事務所名	東日本高速道路株式会社 北海道支社 帯 広 工 事 務 所		

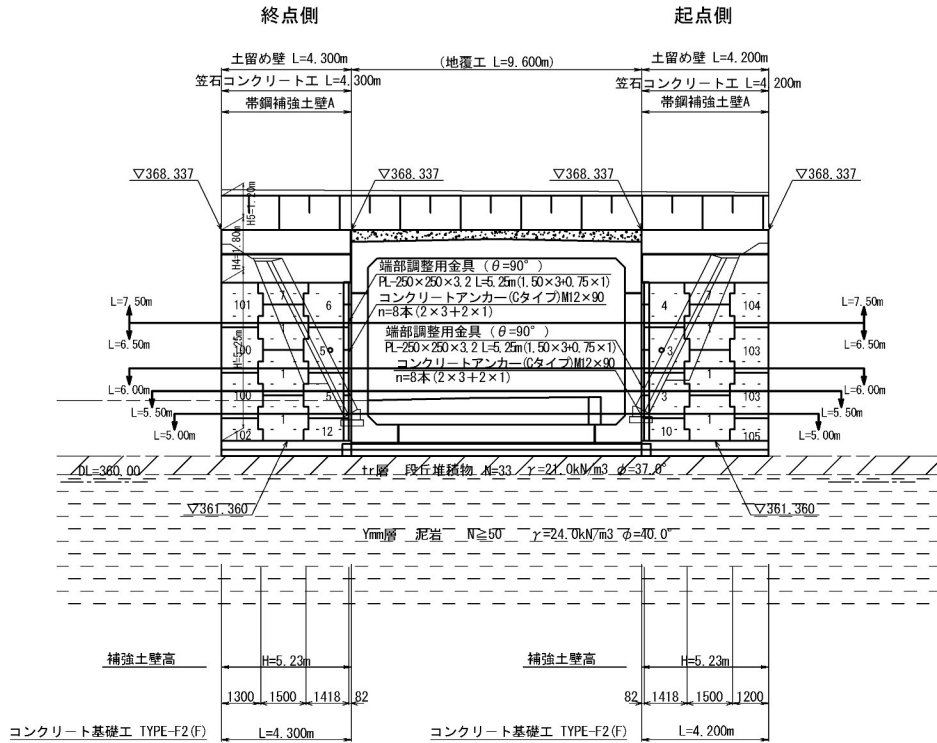


③補強土壁工詳細図（１） S=1：250

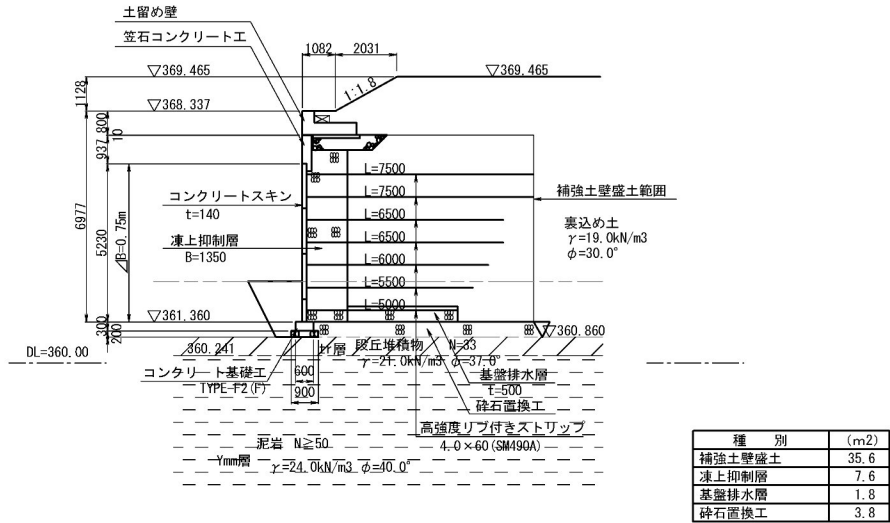
(STA. 818+91.720 C-Bx(P)-8.50x5.50)

正面展開図

A-A断面



A'-A'断面



補強土壁工 設計条件

内的 安定 検討	最高壁高（補強土壁高）	Hmax=5.23m	
	盛土材の土質定数	$\gamma=19.0\text{kN/m}^3$ , $\phi=30^\circ$ , $c=0\text{kN/m}^2$	
	土とストリップとの摩擦係数	$f=1.5\sim\tan 36^\circ$	
	設計水平震度	kh=0.14	
外的 安定 検討	安全率	常時	地震時
	ストリップの引抜げに対し	2.0	1.2
	盛土材の土質定数	$\gamma=19.0\text{kN/m}^3$ , $\phi=30^\circ$ , $c=0\text{kN/m}^2$	
	設計水平震度	kh=0.14	
全体 安定 検討	安全率	常時	地震時
	滑動に対して	1.50	1.20
	転倒に対しての安定条件 注1)	$e\leq L/6$	$e\leq L/3$
	支持力に対して	3.0	2.0
注1)	盛土材の土質定数	$\gamma=19.0\text{kN/m}^3$ , $\phi=30^\circ$ , $c=10\text{kN/m}^2$	
	設計水平震度	kh=0.14	
	安全率	常時	地震時
	すべり破壊に対して	1.25	1.00

注1) eは偏心距離、Lは補強土壁底面の幅

材 料 表

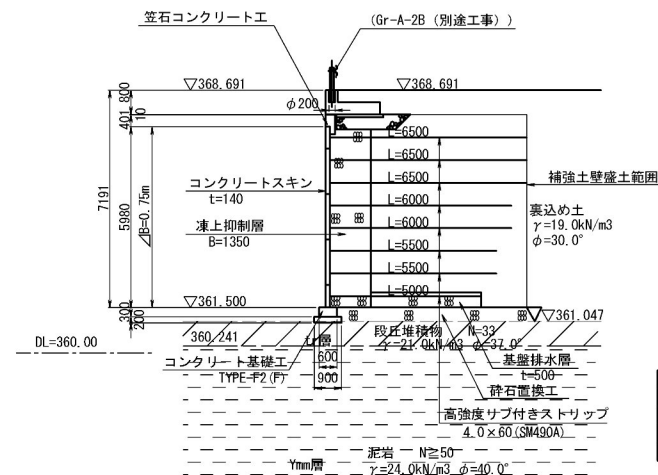
項 目	番号	規 格	単位	数量	摘 要
※1	1	AN4	枚	3	t=140mm
	3	CLN4	〃	2	〃
	4	CLU4	〃	1	〃
	5	CRN4	〃	2	〃
コンクリートスキン	6	CRU4	〃	1	〃
	7	BU2	〃	1	〃
	10	DLD2	〃	1	〃
	12	DRD2	〃	1	〃
※1印の内1枚 水抜き孔3ヶ	100	CLN4	枚	2	t=140mm L=1,50m
	101	CLU4	〃	1	〃
	102	DLD2	〃	1	〃
	103	CRN4	〃	2	t=140mm L=1,50m
異型スキン	104	CRU4	〃	1	〃
	105	DRD2	〃	1	〃
総面積			m <sup>2</sup>	21.538	
高強度リブ付 ストリップ <sup>*</sup> (SM490A材)	4.0×60	L=5.00 m	本	6	垂鉛リブ付
	〃	L=5.50 m	〃	6	〃
	〃	L=6.00 m	〃	6	〃
	〃	L=6.50 m	〃	12	〃
※印は2本ジョイント	総延長		m	267.00	SS400材
	ボルトナット	M12×40	本	84	
	透水防砂材	4t×420×L	m	20	
	水平目地材	20t×75×600	枚	18	
端部調整金具 (Oy17) M12×90	PL-250×250×3.2(θ=90°)	m	5.25	(1.50×3+0.75×1)	
	コンクリートアンカー	PL-60×60×6	枚	8	
	角座金	PL-60×60×6	枚	8	

材 料 表

項 目	番号	規 格	単位	数量	摘 要
※1	1	AN4	枚	3	t=140mm
	3	CLN4	〃	2	〃
	4	CLU4	〃	1	〃
	5	CRN4	〃	2	〃
コンクリートスキン	6	CRU4	〃	1	〃
	7	BU2	〃	1	〃
	10	DLD2	〃	1	〃
	12	DRD2	〃	1	〃
※1印の内1枚 水抜き孔3ヶ	100	CLN4	枚	2	t=140mm L=1,50m
	101	CLU4	〃	1	〃
	102	DLD2	〃	1	〃
	103	CRN4	〃	2	t=140mm L=1,50m
異型スキン	104	CRU4	〃	1	〃
	105	DRD2	〃	1	〃
総面積			m <sup>2</sup>	22.061	
高強度リブ付 ストリップ <sup>*</sup> (SM490A材)	4.0×60	L=5.00 m	本	6	垂鉛リブ付
	〃	L=5.50 m	〃	6	〃
	〃	L=6.00 m	〃	6	〃
	〃	L=6.50 m	〃	12	〃
※印は2本ジョイント	総延長		m	267.00	SS400材
	ボルトナット	M12×40	本	84	
	透水防砂材	4t×420×L	m	20	
	水平目地材	20t×75×600	枚	18	
端部調整金具 (Oy17) M12×90	PL-250×250×3.2(θ=90°)	m	5.25	(1.50×3+0.75×1)	
	コンクリートアンカー	PL-60×60×6	枚	8	
	角座金	PL-60×60×6	枚	8	

道 東 自 動 車 道 占 冠 P A 工 事			
図面の種類	③補強土壁工詳細図（１）		
縮 尺	1:250	図面番号	-
設計会社名	株式会社 横浜コンサルティングセンター		
施工会社名			
事務所名	東日本高速道路株式会社 北海道支社 帯 広 工 事 事 務 所		

## B'-B' 断面



種 別	(m2)
補強土壁盛土	30.6
凍上抑制層	7.9
基盤排水層	1.8
碎石置換工	3.0

## 材 料 表

内 的 安 定 検 査	最高壁高（補強土壁高）	Hmax=5.98m	
	盛土の土質定数	$\gamma=19.0\text{ kN/m}^3, \phi=30^\circ, c=0\text{ kN/m}^2$	
	土とストリップとの摩擦係数	$f=1.5 \sim \tan 36^\circ$	
	設計水平震度	kh=0.14	
	安全率	常時	地震時
	ストリップの引掛けに対し	2.0	1.2
外 的 安 定 検 査	盛土の土質定数	$\gamma=19.0\text{ kN/m}^3, \phi=30^\circ, c=0\text{ kN/m}^2$	
	設計水平震度	kh=0.14	
	安全率	常時	地震時
	滑動に対して	1.50	1.20
	転倒に対しての安定条件 注1)	$e \leq L/6$	$e \leq L/3$
	支持力に対して	3.0	2.0
全 体 安 定 検 査	盛土の土質定数	$\gamma=19.0\text{ kN/m}^3, \phi=30^\circ, c=10\text{ kN/m}^2$	
	設計水平震度	kh=0.14	
	安全率	常時	地震時
	すべり破壊に対して	1.25	1.00

注1)  $e$ は偏心距離,  $L$ は補強土壁底面の幅

## 材 料 表

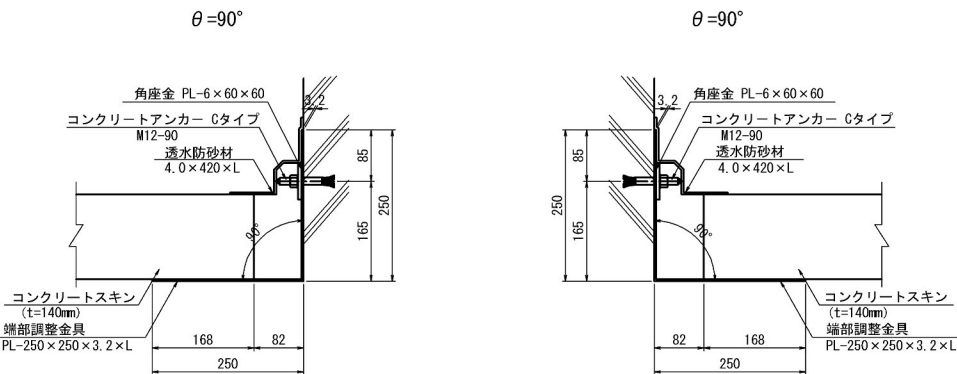
(B-8断面：起点側)		規 格		単位	数量	摘 要
※1 コンクリートシン	1	AN4	枚	6	t=140mm	
	2	ALJ4	〃	1	〃	
	3	CLN4	〃	-	〃	
	5	CRN4	〃	3	〃	
	7	BU2	〃	1	〃	
	8	BD2	〃	1	〃	
	9	DLI2	〃	-	〃	
	10	DLD2	〃	-	〃	
	11	DRJ2	〃	1	〃	
	12	DRD2	〃	1	〃	
	※1印の内1枚 水抜き孔2ヶ	100	CLN2	枚	3	t=140mm L=0.70m
	異型シン	101	CLU2	〃	1	〃
102		CRN2	〃	-	〃	
103		CRJ2	〃	-	〃	
					〃	
総面積			m <sup>2</sup>	30.606		
高強度リブ付 ストリップ <sup>*</sup> (SM490A材)	4.0×60	L=5.00 m	本	7	垂鉛付材	
	〃	L=5.50 m	〃	14	〃	
	〃	L=6.00 m	〃	14	〃	
	〃	L=6.50 m	〃	21	〃	
※印は2本ジョイント	総延長		m	332.50	SS400材	
ボルトナット	M12×40		m	112		
透水防砂材	4t×420×L		枚	30		
水平目地材	20t×75×600		枚	25		
端部調整金具	PL-250×250×3.2(θ=90°)		m	6.00	(1.50×4)	
コンクリートアンカー	(φ34) M12×90	本	8			
角座金	PL-60×60×6	枚	8			

材 料 表	
① 25 号工 钢 (1 吨)	
② 25 号工 钢 (1 吨)	
③ 25 号工 钢 (1 吨)	
④ 25 号工 钢 (1 吨)	
⑤ 25 号工 钢 (1 吨)	
⑥ 25 号工 钢 (1 吨)	
⑦ 25 号工 钢 (1 吨)	
⑧ 25 号工 钢 (1 吨)	
⑨ 25 号工 钢 (1 吨)	
⑩ 25 号工 钢 (1 吨)	
⑪ 25 号工 钢 (1 吨)	
⑫ 25 号工 钢 (1 吨)	
⑬ 25 号工 钢 (1 吨)	
⑭ 25 号工 钢 (1 吨)	
⑮ 25 号工 钢 (1 吨)	
⑯ 25 号工 钢 (1 吨)	
⑰ 25 号工 钢 (1 吨)	
⑱ 25 号工 钢 (1 吨)	
⑲ 25 号工 钢 (1 吨)	
⑳ 25 号工 钢 (1 吨)	
㉑ 25 号工 钢 (1 吨)	
㉒ 25 号工 钢 (1 吨)	
㉓ 25 号工 钢 (1 吨)	
㉔ 25 号工 钢 (1 吨)	
㉕ 25 号工 钢 (1 吨)	
㉖ 25 号工 钢 (1 吨)	
㉗ 25 号工 钢 (1 吨)	
㉘ 25 号工 钢 (1 吨)	
㉙ 25 号工 钢 (1 吨)	
㉚ 25 号工 钢 (1 吨)	
㉛ 25 号工 钢 (1 吨)	
㉜ 25 号工 钢 (1 吨)	
㉝ 25 号工 钢 (1 吨)	
㉞ 25 号工 钢 (1 吨)	
㉟ 25 号工 钢 (1 吨)	
㊱ 25 号工 钢 (1 吨)	
㊲ 25 号工 钢 (1 吨)	
㊳ 25 号工 钢 (1 吨)	
㊴ 25 号工 钢 (1 吨)	
㊵ 25 号工 钢 (1 吨)	
㊶ 25 号工 钢 (1 吨)	
㊷ 25 号工 钢 (1 吨)	
㊸ 25 号工 钢 (1 吨)	
㊹ 25 号工 钢 (1 吨)	
㊺ 25 号工 钢 (1 吨)	
㊻ 25 号工 钢 (1 吨)	
㊼ 25 号工 钢 (1 吨)	
㊽ 25 号工 钢 (1 吨)	
㊾ 25 号工 钢 (1 吨)	
㊿ 25 号工 钢 (1 吨)	

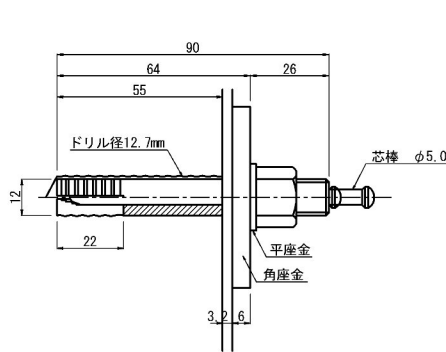
(07)断面：梁(梁頭)							
項	目	番号	規 格	単位	数量	摘 要	
コンクリートスキャン	※1	1	AN4	枚	6	t=140mm	
		2	AI4	〃	1	〃	
		3	CLN4	〃	3	〃	
		5	CRN4	〃	－	〃	
		7	BU2	〃	1	〃	
		8	BD2	〃	1	〃	
		9	DLU2	〃	1	〃	
		10	DLD2	〃	1	〃	
		11	DRU2	〃	－	〃	
		12	DRD2	〃	－	〃	
		※1印の内1枚 水抜き孔ｽﾏﾝ					
異型スキャン	100	CLN2	枚	－	t=140mm t=0.70mm		
	101	CLU2	〃	－	〃		
	102	CRN2	〃	3	〃		
	103	CRU2	〃	1	〃		
総面積			m <sup>2</sup>	30.606			
高強度リブ付 ストリップ <sup>+</sup> (SM490A材)	※印は2本ジョイント	4.0 × 60	L=5.00 m	本	7	垂鉛メッ付	
		〃	L=5.50 m	〃	14	〃	
		〃	L=6.00 m	〃	14	〃	
		〃	L=6.50 m	〃	21	〃	
水平目地材			m	332.50	SS400材		
※印は2本ジョイント			総延長	m	332.50	SS400材	
ボルトナット			M12 × 40	本	112		
透水防砂材			4×420×L	m	30		
水平目地材			20 t 175 × 600	枚	25		
端部調整金具			PL-250×250×3.2 (θ=90°)	m	6.00	(1.50×4)	
コンクリートアンカ			(φ34) M12 × 90	本	8		
角座金			PL-60 × 60 × 6	枚	8		

道 東 自 動 車 道 占 冠 P A 工 事			
図面の種類	③補強土壁工詳細図（２）		
縮 尺	1:250	図面番号	-
設計会社名	株式会社 横浜コンサルティングセンター		
施工会社名			
事務所名	東日本高遠道路株式会社 北海道支社 帯 広 工 事 務 所		

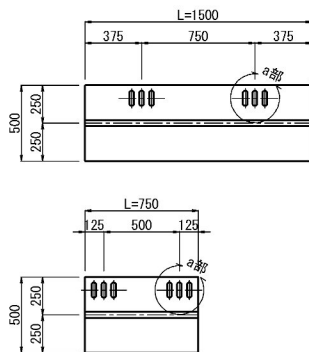
端部取付詳細図 S=1：5



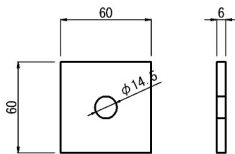
コンクリートアンカー Cタイプ S=1：1  
(M12-90)  
公称重量 91g/セット



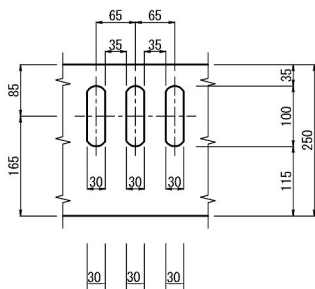
端部調整金具 S=1：20  
(PL-250×250×3.2×L SS400)



角座金 S=1：2  
(PL-6×60×60 SS400)  
公称重量 165g/枚

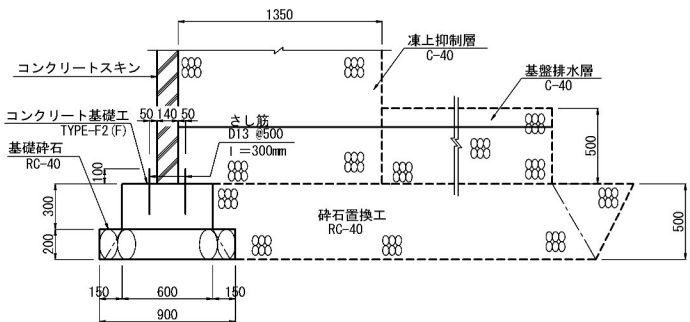


a 部 詳 細 図 S=1：5



基礎工詳細図 S=1：20

コンクリート基礎工 F2(F)



基礎工 TYPE-F2(F) 数量表				10m 当り
項 目	規格・寸法	単 位	数 量	摘 要
コンクリート	C2-1	m <sup>3</sup>	1.80	
型 わ く	D	m <sup>2</sup>	6.00	
基 礎 砕 石	RC-40	m <sup>3</sup>	1.80	
鉄 筋	A D13	kg	11.9	さし筋

道 東 自 動 車 道 占 冠 P A 工 事			
図面の種類	③補強土壁工詳細図（3）		
縮 尺	1：250	図面番号	-
設計会社名	株式会社 横浜コンサルティングセンター		
施工会社名			
事務所名	東日本高速道路株式会社 北海道支社 帯 広 工 事 事 務 所		

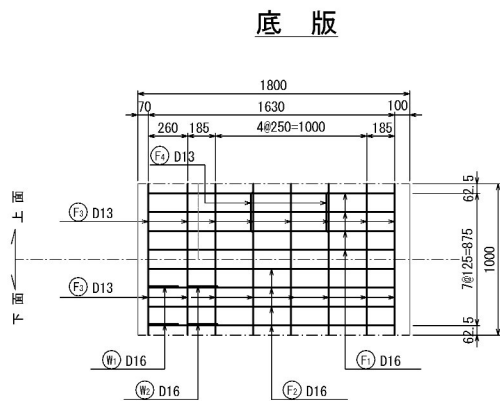
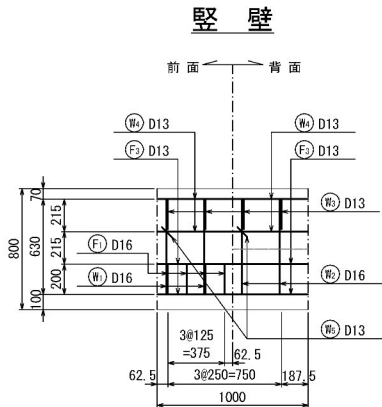
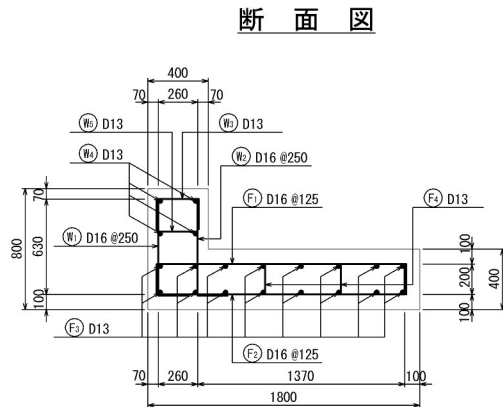
③補強土壁工詳細図（４）S=1：250

(STA. 818+91.720 C-Bx(P)-8.50x5.50)

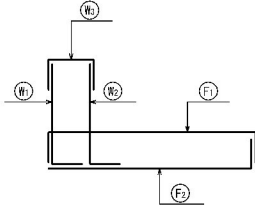
土留め壁

A-A断面

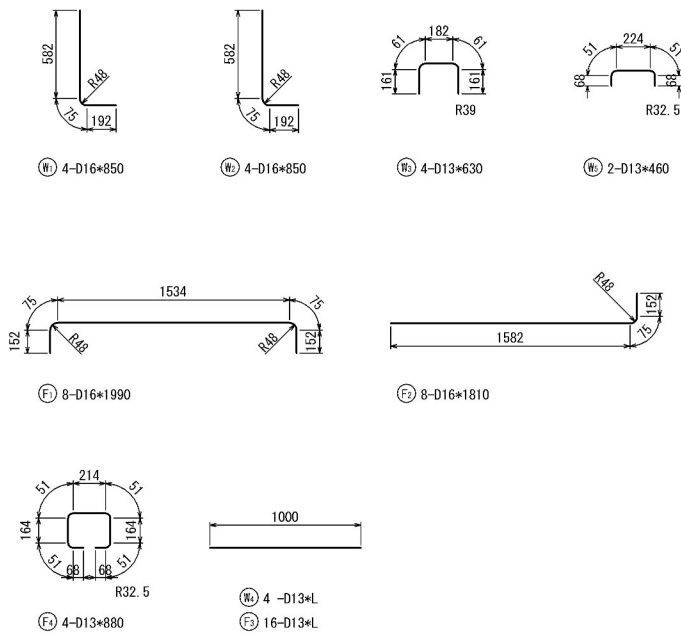
土留め壁配筋図



鉄筋組立図



鉄筋加工図



注) 上図は鉄筋の中心寸法で表示している

土留め壁 数量表

種 別	規格・寸法	単位	数 量			摘 要
			A-A:起点	A-A:終点	合 計	
土留め壁	H=0.80m	m	4.2	4.3	8.5	
コンクリート	B1-3	m3	3.7	3.8	7.5	
型わく	D1-1	m3	0.7	0.7	1.4	
	C	m2	8.4	8.6	17.0	
	D	m2	0.4	0.4	0.8	
目地材	t=20mm	m2	0.9	0.9	1.8	
	鉄筋	D13	t	0.112	0.115	0.227
		D16~D25	t	0.242	0.248	0.490
		D29~D32	t	-	-	-
		計	t	0.354	0.363	0.717
基礎材	RC-40	m3	4.0	4.1	8.1	
発泡スチロールブロック	t=50mm 密度20kg/m3	m2	2.1	2.2	4.3	
ゴムプレート	t=10mm SBR	m2	1.3	1.3	2.6	

鉄筋質量表

記 号	径	長さ(L)	本 数	単位質量(kg/m)	1本当り質量	質 量	摘 要
							(延長1.0m当り)
㊦	D16	850	4	1.56	1.33	5.3	└
㊦	"	850	4	"	1.33	5.3	└
㊦	D13	630	4	0.995	0.63	2.5	└
㊦	"	1000	4	"	1.00	4.0	└
㊦	"	460	2	"	0.46	0.9	└
							(延長1.0m当り)
㊦	D16	1990	8	1.56	3.10	24.8	└
㊦	"	1810	8	"	2.82	22.6	└
㊦	D13	1000	16	0.995	1.00	16.0	└
㊦	"	880	4	"	0.88	3.5	└
計						D16 58.0 kg	
						D13 26.9 kg	

※ガードレール支柱補強筋については別途計上する事。

鉄筋曲げ加工表

径	主 筋		スターラップ	
	θ=90°		θ=135°	
	R	a	R	a
	ΔL	ΔL	ΔL	ΔL
D13	39	61	17	71.5
D16	48	75	21	87

道 東 自 動 車 道 占 冠 P A 工 事			
図面の種類	③補強土壁工詳細図（４）		
縮 尺	1:250	図面番号	-
設計会社名	株式会社 横浜コンサルティングセンター		
施工会社名			
事務所名	東日本高速道路株式会社 北海道支社 帯 広 工 事 事 務 所		

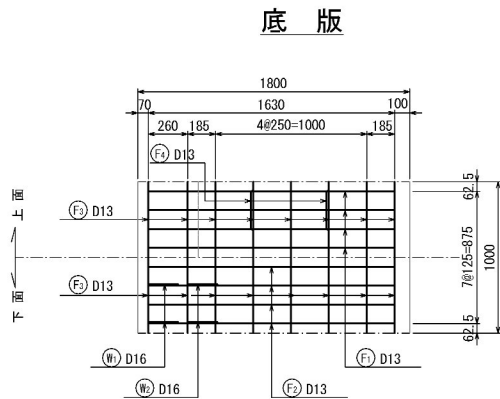
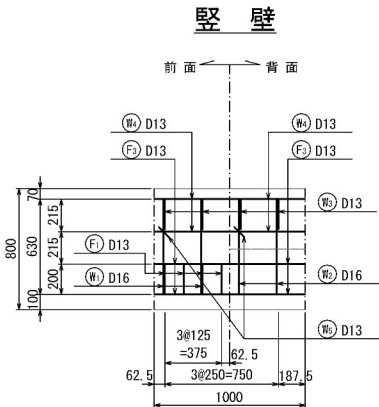
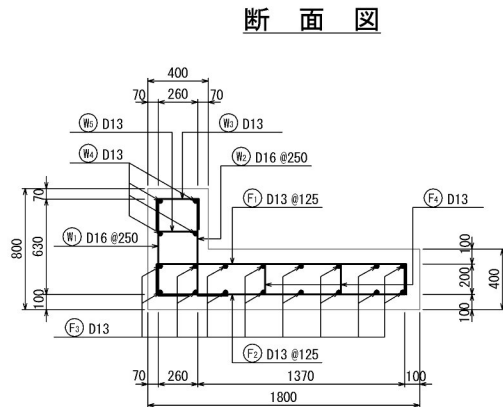
③補強土壁工詳細図（５） S=1：250

(STA. 818+91.720 C-Bx(P)-8.50x5.50)

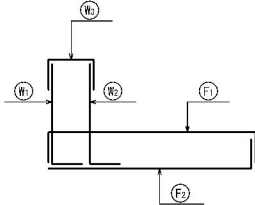
土留め壁

B-B断面

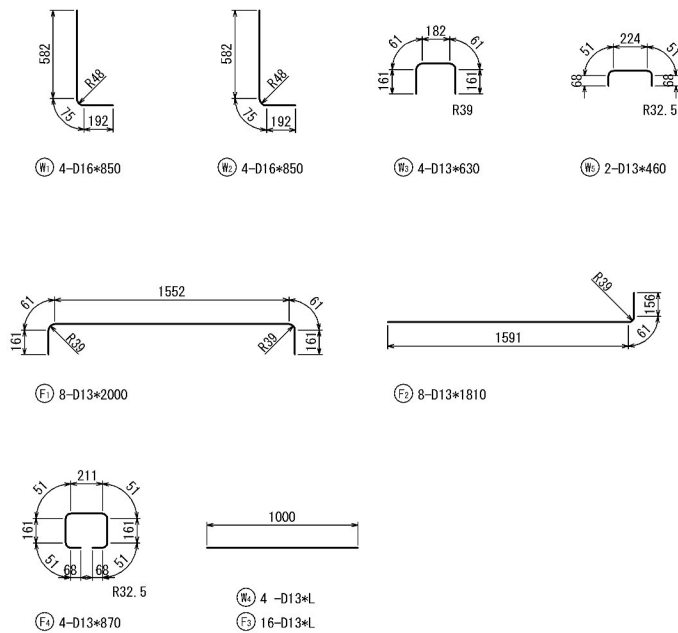
土留め壁配筋図



鉄筋組立図



鉄筋加工図



注) 上図は鉄筋の中心寸法で表示している

土留め壁 数量表

種 別	規格・寸法	単位	数 量			摘 要
			B-B:起点	B-B:終点	合 計	
土留め壁	H=0.80m	m	5.2	5.2	10.4	
コンクリート	B1-3	m3	4.6	4.6	9.2	
	D1-1	m3	0.8	0.8	1.6	
型わく	C	m2	10.0	10.0	20.0	
	D	m2	0.5	0.5	1.0	
目地材	t=20mm	m2	0.9	0.9	1.8	
	D13	t	0.296	0.296	0.592	
	D16~D25	t	0.055	0.055	0.110	
	D29~D32	t	-	-	-	
基礎材	RC-40	m3	4.9	4.9	9.8	
	t=50mm 密度20kg/m3	m2	2.6	2.6	5.2	
ゴムプレート	t=10mm SBR	m2	1.6	1.6	3.2	
ガードレールポスト孔箱抜き		箇所	3	3	6	

鉄筋質量表

記 号	径	長さ(L)	本 数	単位質量(kg/m)	1本当り質量	質 量	摘 要
							(延長1.0m当り)
㊦	D16	850	4	1.56	1.33	5.3	└
㊦	"	850	4	"	1.33	5.3	└
㊦	D13	630	4	0.995	0.63	2.5	└
㊦	"	1000	4	"	1.00	4.0	└
㊦	"	460	2	"	0.46	0.9	└
							(延長1.0m当り)
㊦	D13	2000	8	0.995	1.99	15.9	└
㊦	"	1810	8	"	1.80	14.4	└
㊦	"	1000	16	"	1.00	16.0	└
㊦	"	870	4	"	0.87	3.5	└
計						D16 10.6 kg	
						D13 57.2 kg	

※ガードレール支柱補強筋については別途計上する事。

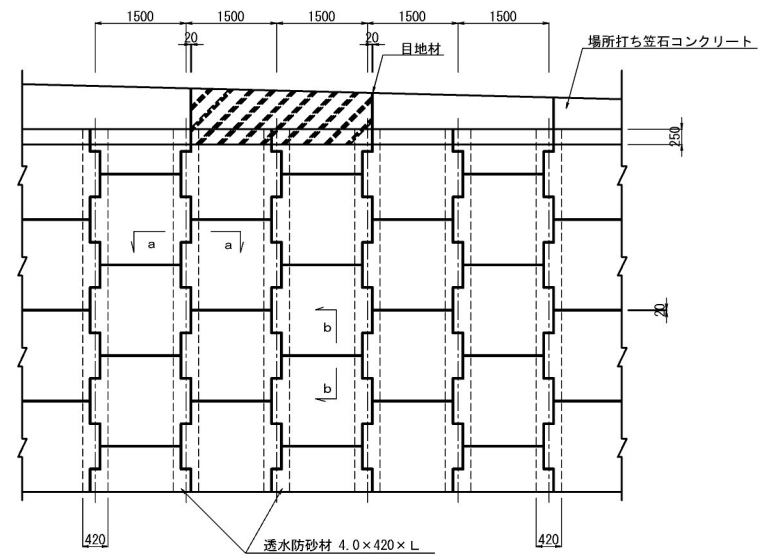
鉄筋曲げ加工表

主 筋		スタ ーラップ		主 筋		スタ ーラップ	
径	θ=90°	θ=135°	θ=90°	径	θ=90°	θ=135°	θ=90°
D13	39	61	17	71.5	56	4	32.5
D16	48	75	21	-	-	-	-

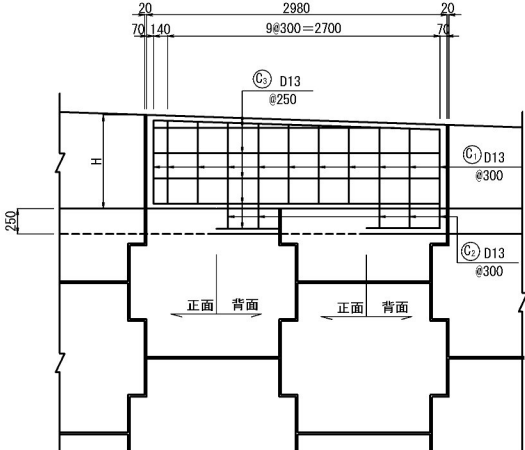
道 東 自 動 車 道 占 冠 P A 工 事			
図面の種類	③補強土壁工詳細図（５）		
縮 尺	1:250	図面番号	-
設計会社名	株式会社 横浜コンサルティングセンター		
施工会社名			
事務所名	東日本高速道路株式会社 北海道支社 帯 広 工 事 事 務 所		

補強土壁工 部材図（１）  
（補強土壁工共通部材）

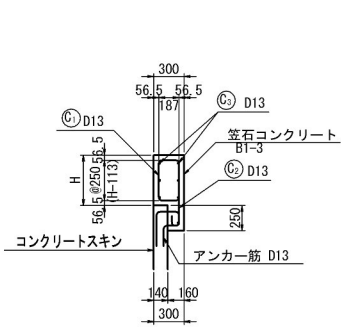
スキン組合せ一般図 S=1：50



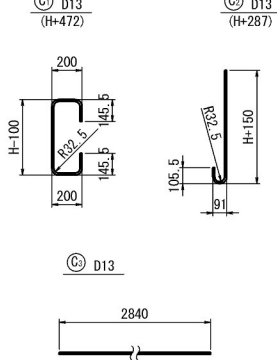
笠石コンクリート配筋図 S=1：30



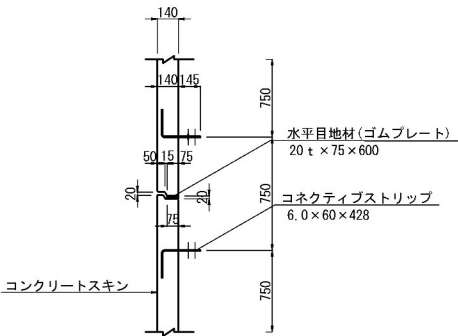
笠石コンクリート断面図 S=1：30



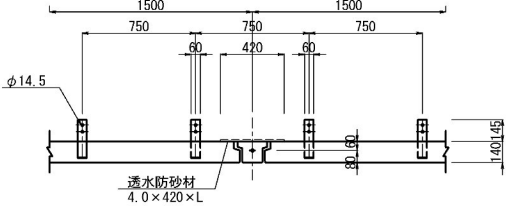
鉄筋加工図 S=1：20



断面 b－b S=1：20

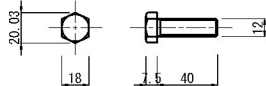


断面 a－a S=1：20



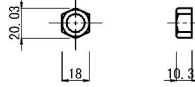
ボルト S=1：2

M12×40  
ボルト 強度区分8.8

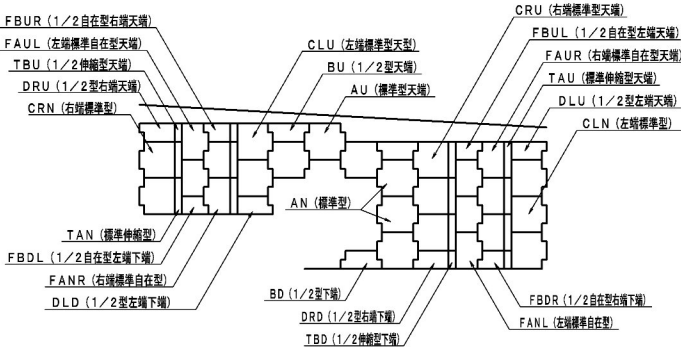


ナット S=1：2

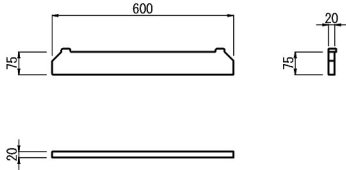
ナット 強度区分 8



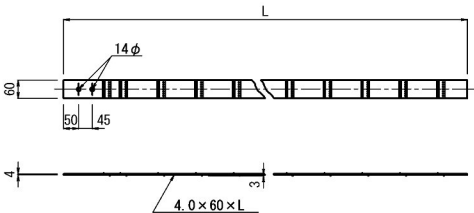
スキン記号説明（正面図）



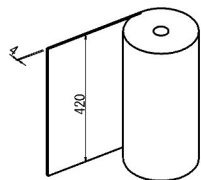
水平目地材(ゴムプレート) S=1：10



高強度リブ付ストリップ S=1：10  
材質SM490A

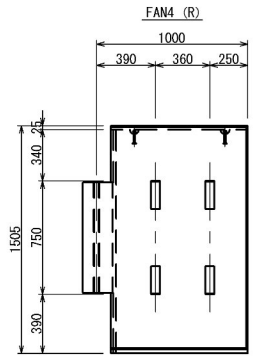
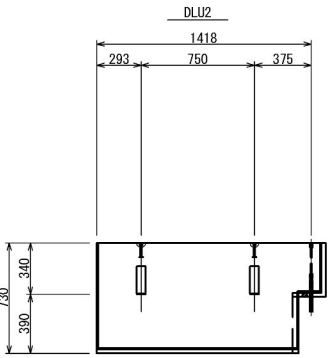
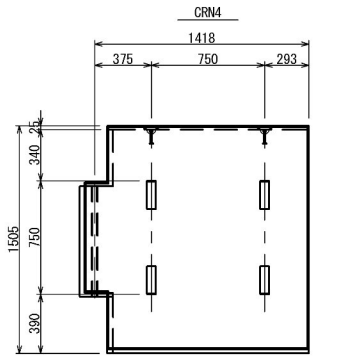
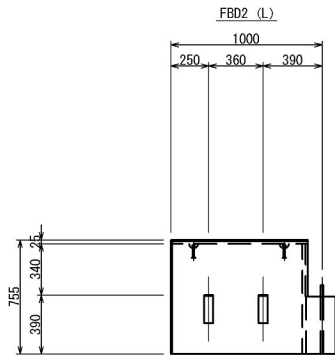
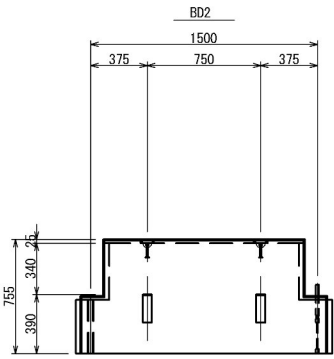
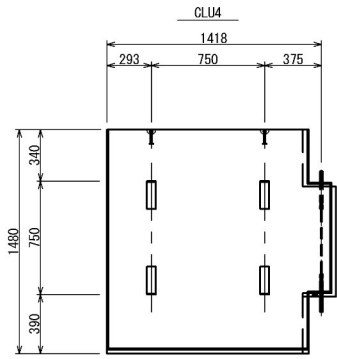
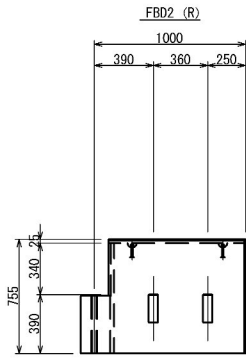
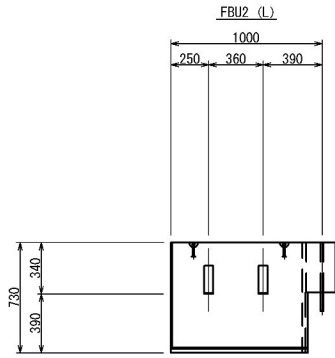
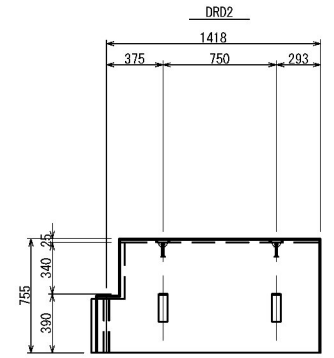
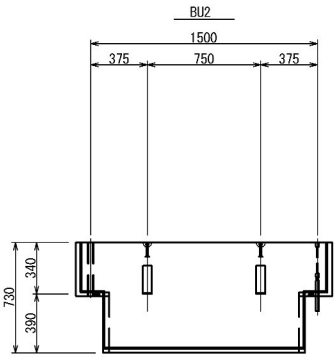
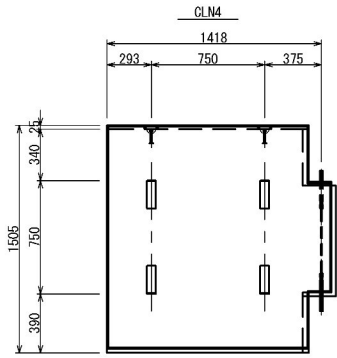
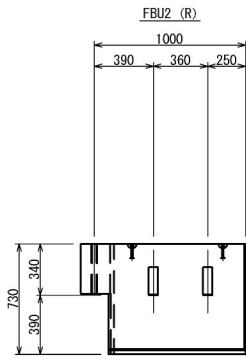
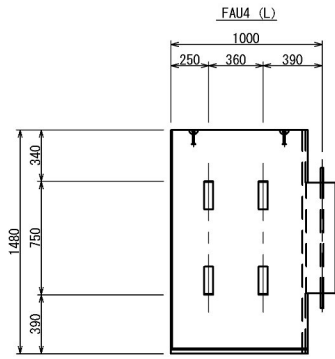
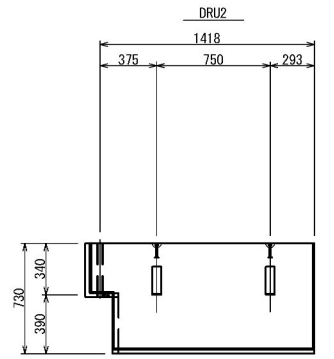
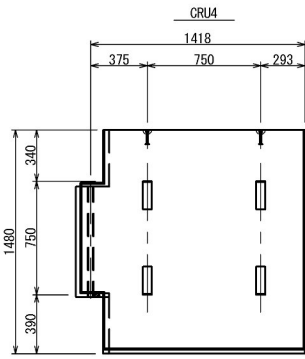
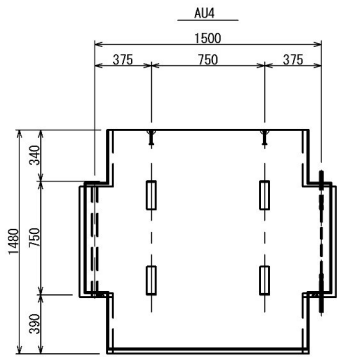
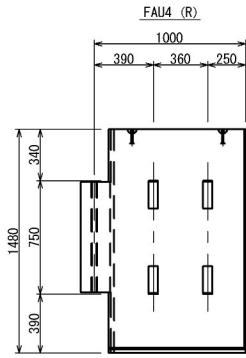
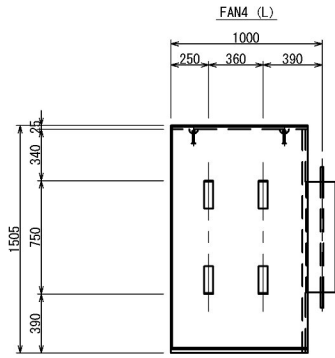
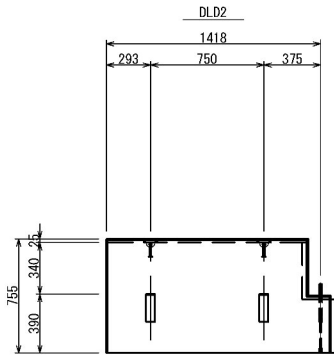
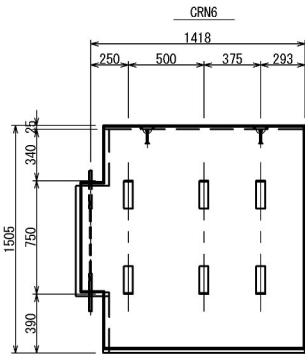
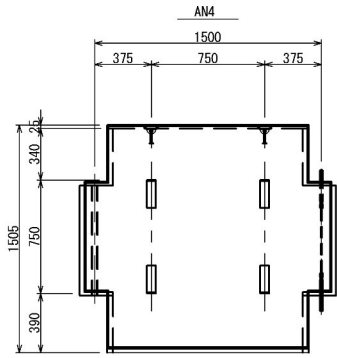


透水防砂材 S=1：10



道東自動車道 占冠PA工事			
図面の種類	補強土壁工 部材図（１）		
縮 尺	図示	図面番号	-
設計会社名	株式会社 横浜コンサルティングセンター		
施工会社名			
事務所名	東日本高速道路株式会社 北海道支社 帯広工事事務所		

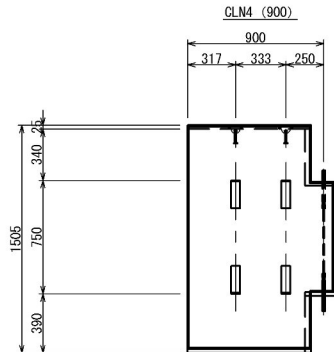
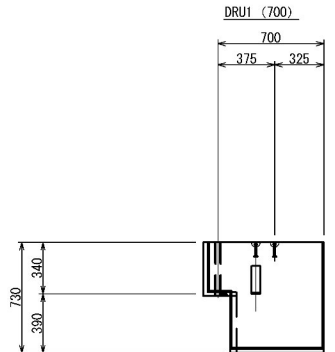
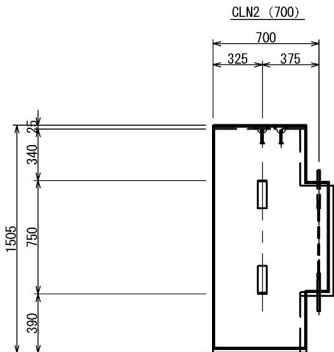
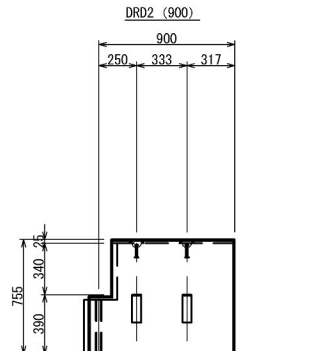
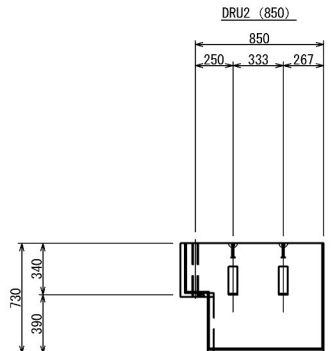
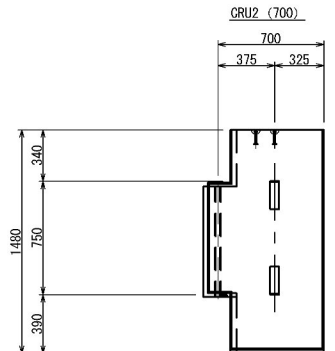
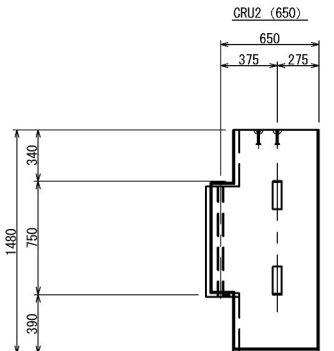
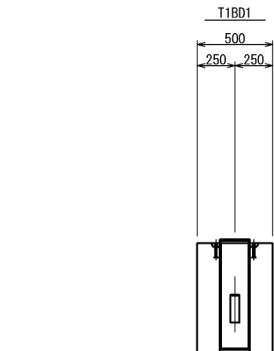
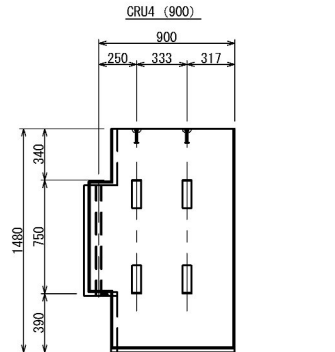
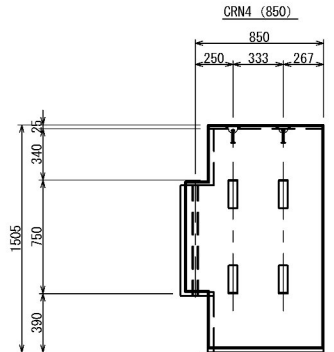
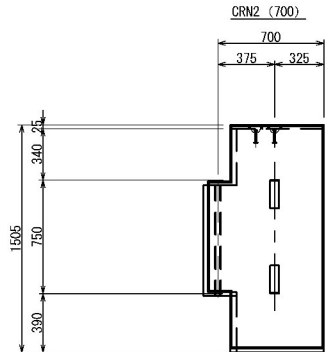
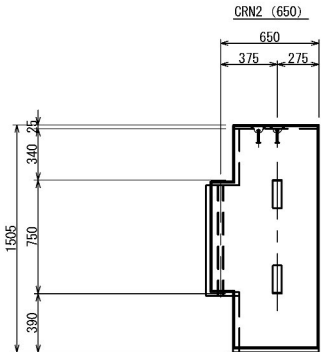
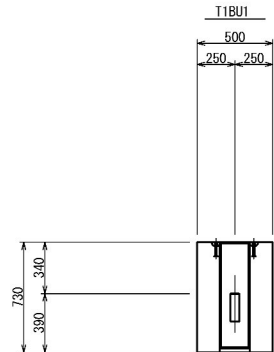
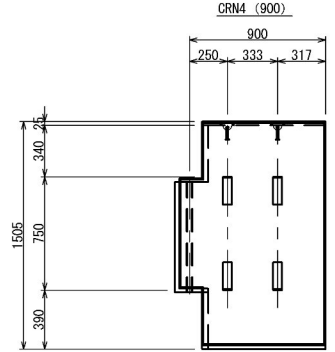
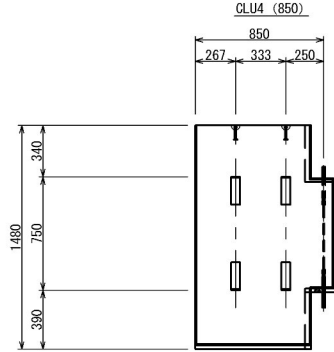
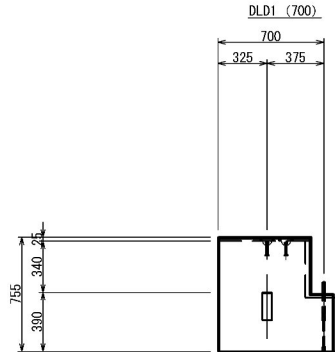
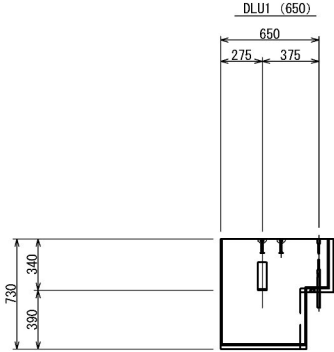
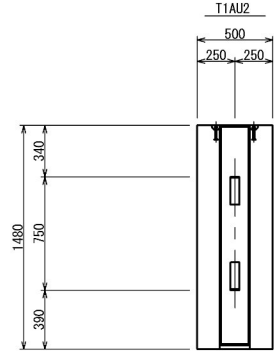
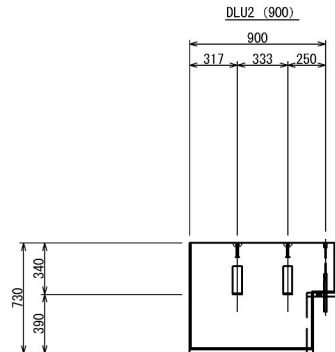
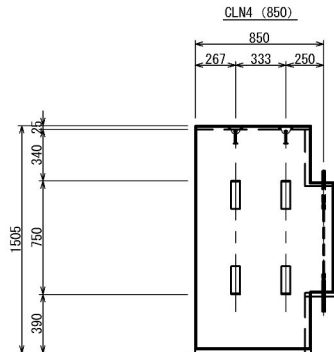
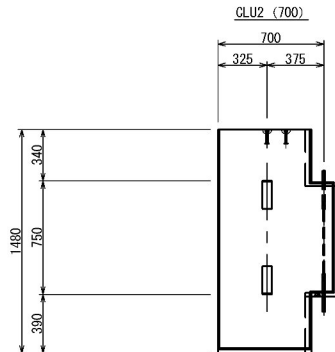
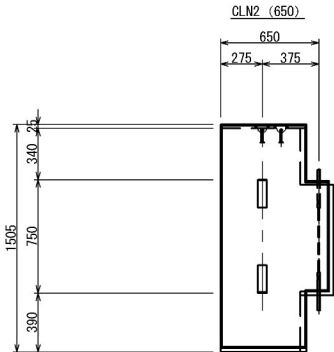
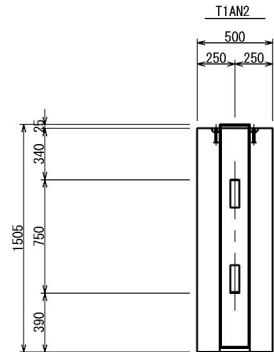
補強土壁工 部材図（２） S=1:50  
（補強土壁パネル詳細図（１））



道 東 自 動 車 道 占 冠 P A 工 事			
図面の種類	補強土壁工 部材図（２） （パネル詳細図（１））		
縮 尺	1 : 50	図面番号	-
設計会社名	株式会社 横浜コンサルティングセンター		
施工会社名			
事務所名	東日本高速道路株式会社 北海道支社 帯 広 工 事 事 務 所		

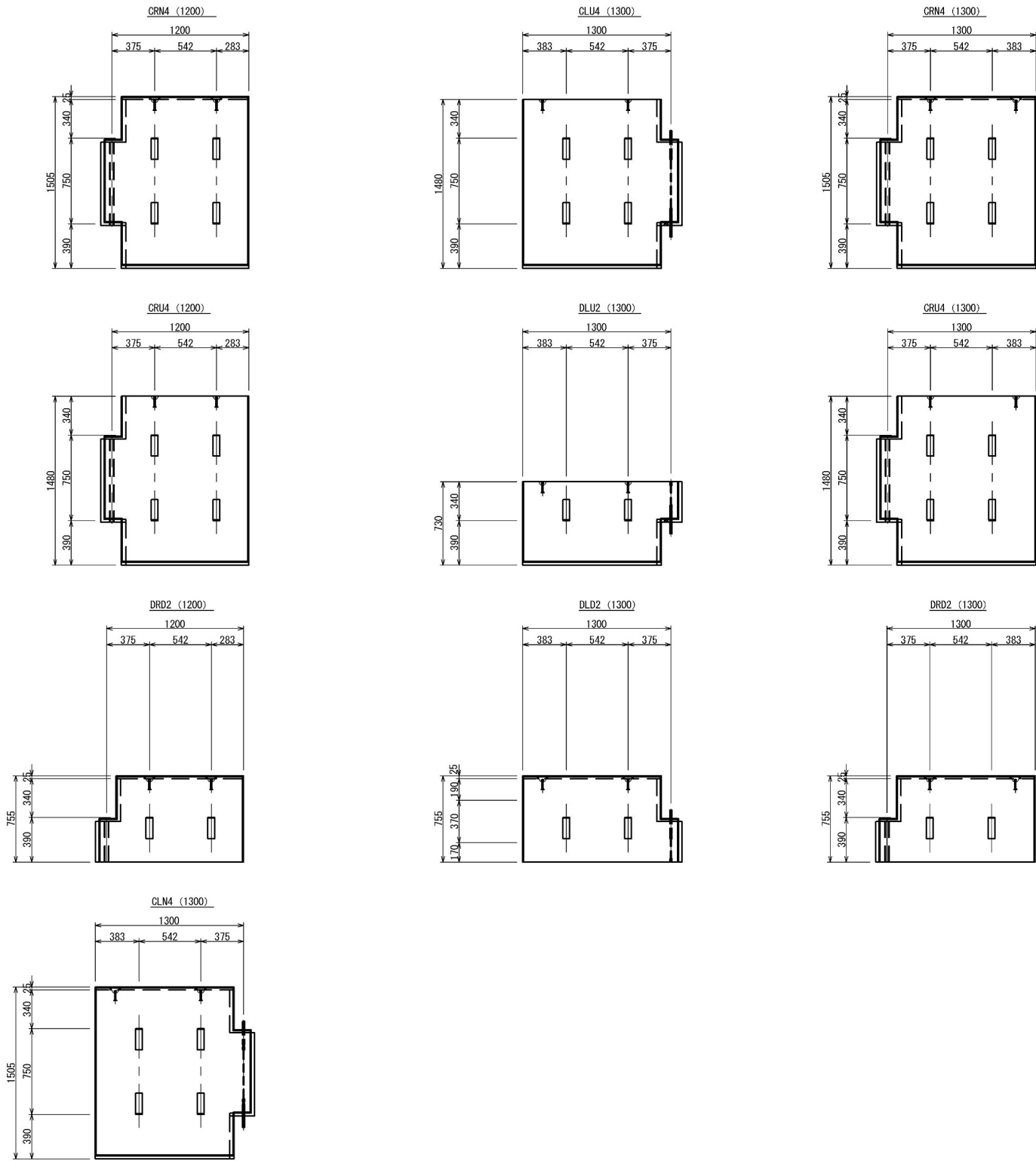


補強土壁工 部材図 ( 3 ) S=1:50  
(補強土壁パネル詳細図 ( 2 ) )



道東自動車道 占冠 P A 工事			
図面の種類	補強土壁工 部材図 ( 3 ) (パネル詳細図 ( 2 ) )		
縮 尺	1 : 50	図面番号	-
設計会社名	株式会社 横浜コンサルティングセンター		
施工会社名			
事務所名	東日本高速道路株式会社 北海道支社 帯 広 工 事 事 務 所		

補強土壁工 部材図（４） S=1:50  
（補強土壁パネル詳細図（３））

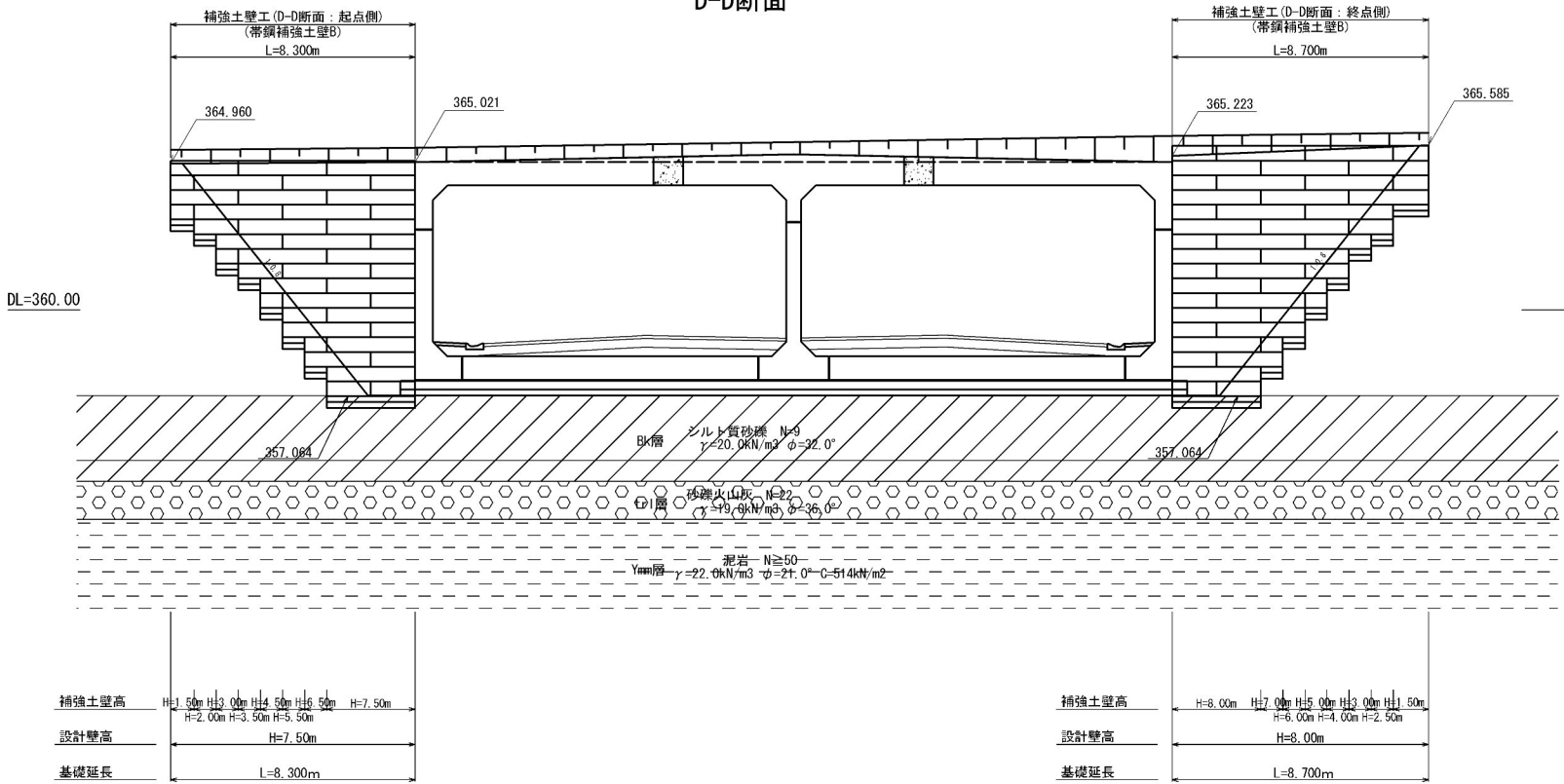


道 東 自 動 車 道 占 冠 P A 工 事			
図面の種類	補強土壁工 部材図（４） （パネル詳細図（３））		
縮 尺	1 : 50	図面番号	-
設計会社名	株式会社 横浜コンサルティングセンター		
施工会社名			
事務所名	東日本高速道路株式会社 北海道支社 帯 広 工 事 事 務 所		

④補強土壁工一般図 S=1 : 250  
(仮設ウイングSTA. 811+42.088 C-Bx(P)-(12.00+12.00)x5.80)

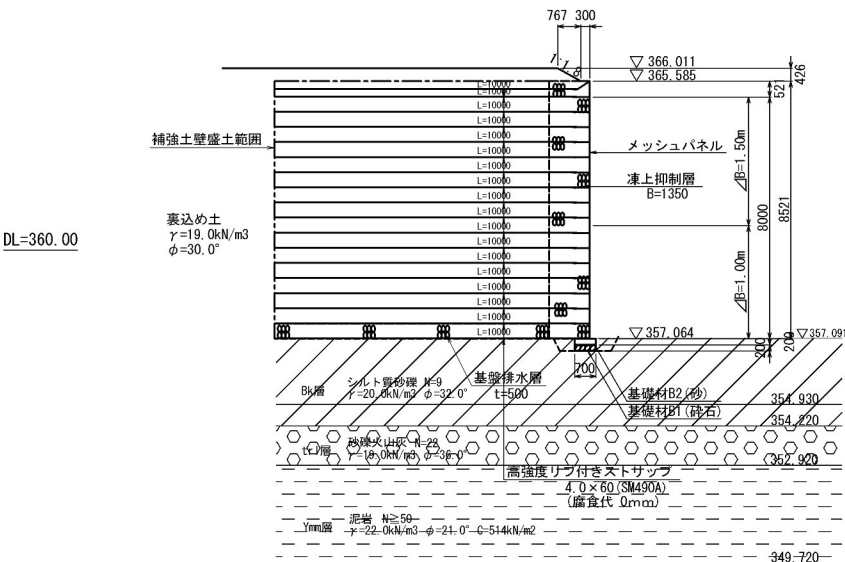
正面一般図

D-D断面



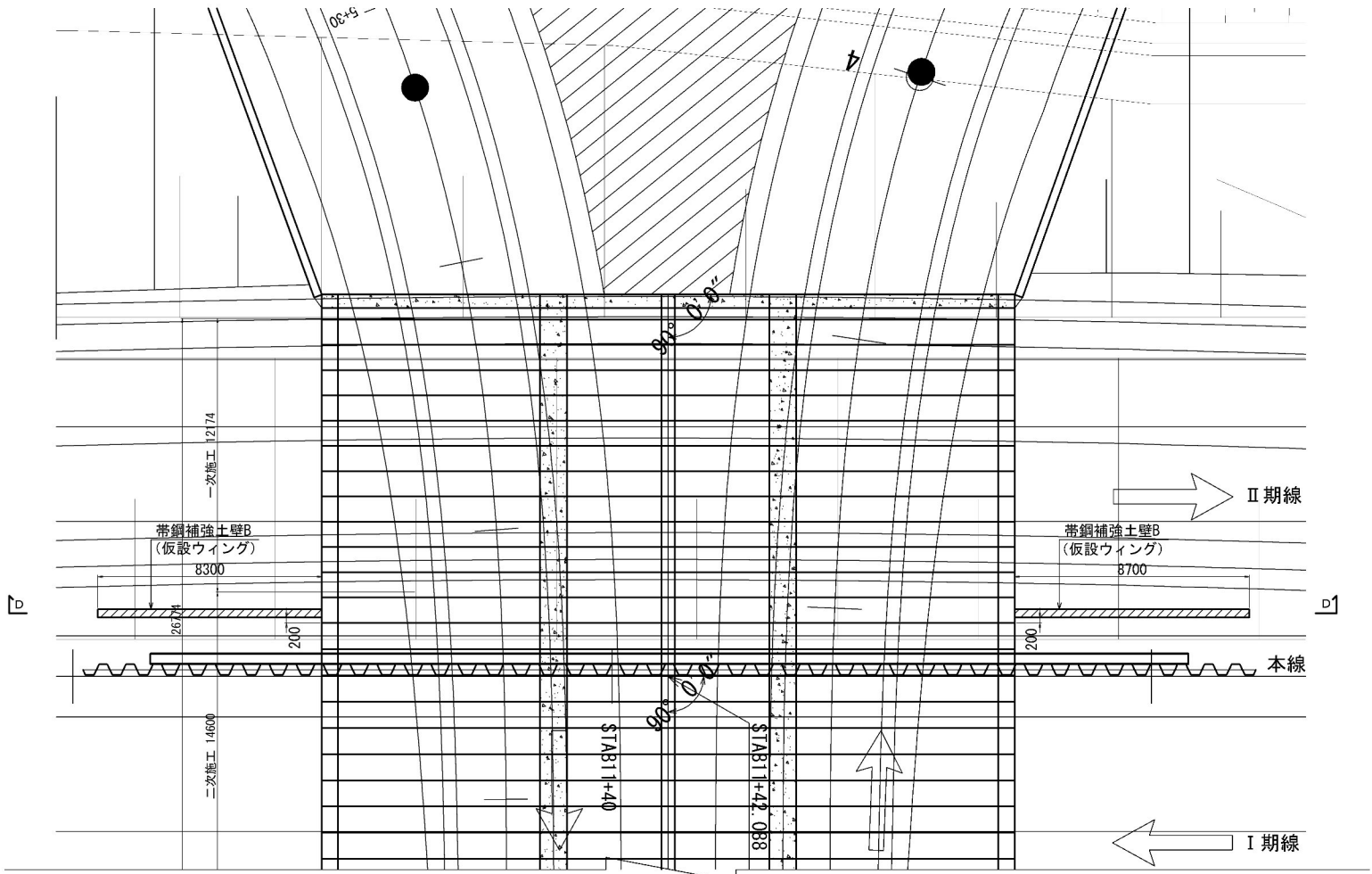
標準断面図

D'-D'断面



平面図

S=1 : 300



補強土壁工数量表

項 目	種 別	規格・寸法	単位	数 量			摘 要
				D-D: 起点	D-D: 終点	合 計	
帯鋼補強土壁B	メッシュパネル		m <sup>2</sup>	46.6	50.8	97.4	
基 礎 材	B2 (砂)		m <sup>3</sup>	1.2	1.2	2.4	
	B1 (砕石)	RC-40	m <sup>3</sup>	1.2	1.2	2.4	
基礎排水層	C-40		m <sup>3</sup>	12.9	13.6	26.5	
盛土工A3	凍上抑制層		m <sup>3</sup>	62.9	68.5	131.4	
構造物掘削	普通部A		m <sup>3</sup>	96.5	100.7	197.2	土砂
	埋戻し		m <sup>3</sup>	24.2	24.7	48.9	
裏込め	裏込めB		m <sup>3</sup>	43.5	49.7	93.2	現地発生材
	補強土壁盛土		m <sup>3</sup>	433.2	477.8	911.0	現地発生材

道 東 自 動 車 道 占 冠 P A 工 事			
図面の種類	④補強土壁工一般図		
縮 尺	1:250	図面番号	-
設計会社名	株式会社 横浜コンサルティングセンター		
施工会社名			
事務所名	東日本高速道路株式会社 北海道支社 帯 広 工 事 事 務 所		

④補強土壁工横断図 S=1 : 250  
(仮設ウイングSTA. 811+42. 088 C-Bx(P)-(12. 00+12. 00)x5. 80)

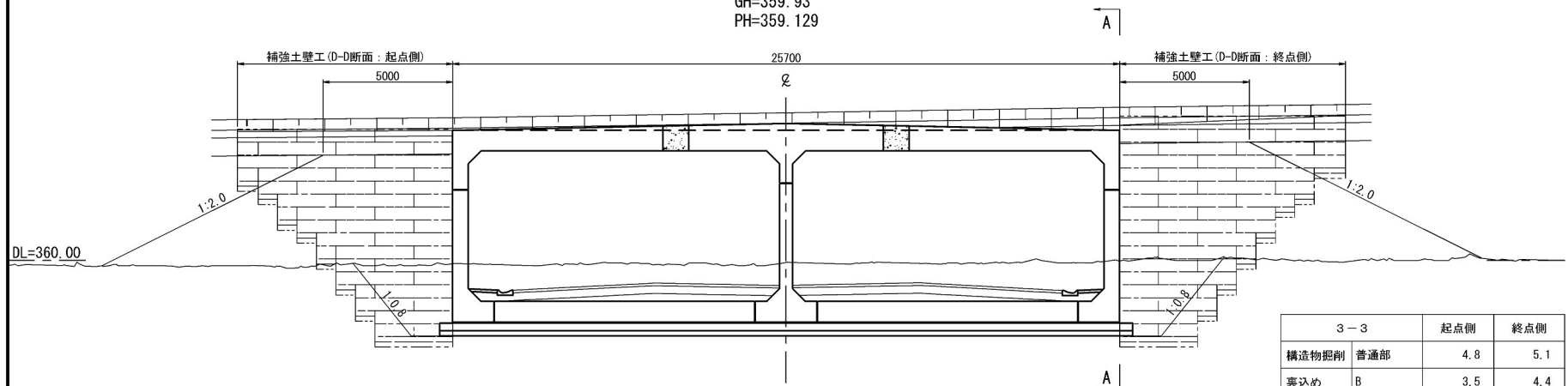
横断図

3-3

STA. 0+01. 974

GH=359. 93

PH=359. 129



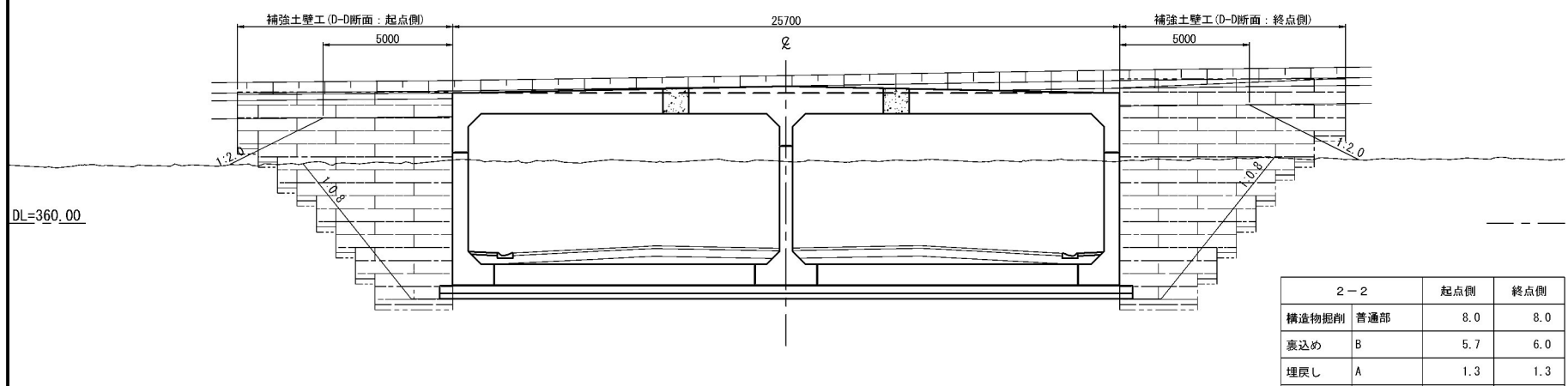
3-3		起点側	終点側
構造物掘削	普通部	4.8	5.1
裏込め	B	3.5	4.4
埋戻し	A	1.3	1.3
控除土量	路体	3.7	4.2

2-2

STA. 0+06. 974

GH=362. 38

PH=359. 129



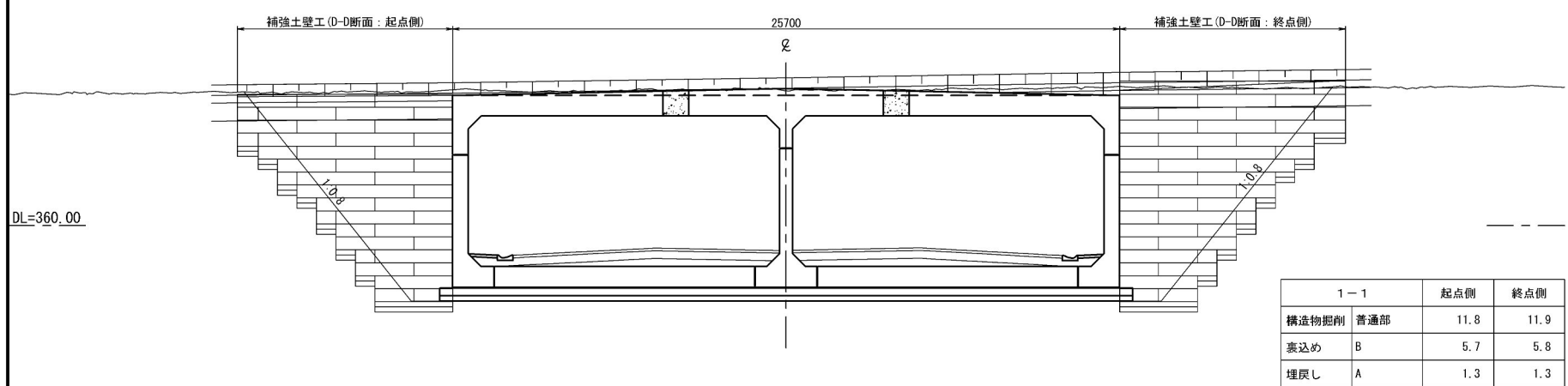
2-2		起点側	終点側
構造物掘削	普通部	8.0	8.0
裏込め	B	5.7	6.0
埋戻し	A	1.3	1.3
控除土量	路体	2.8	3.4

1-1

STA. 0+11. 974

GH=365. 19

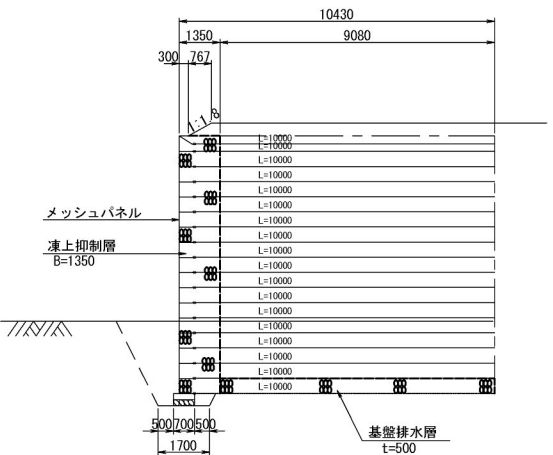
PH=359. 129



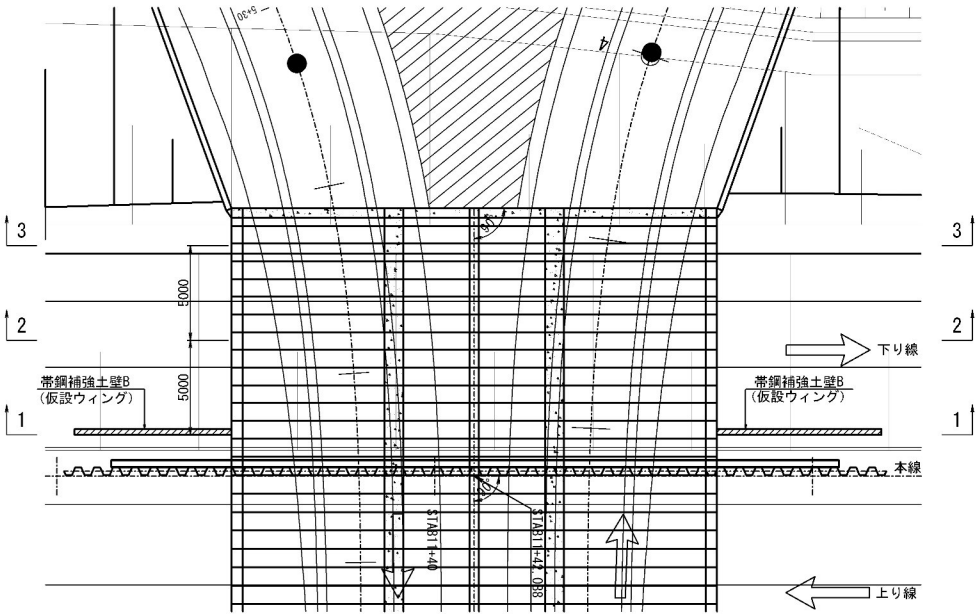
1-1		起点側	終点側
構造物掘削	普通部	11.8	11.9
裏込め	B	5.7	5.8
埋戻し	A	1.3	1.3
控除土量	路体	-	-

断面図

A-A



位置図

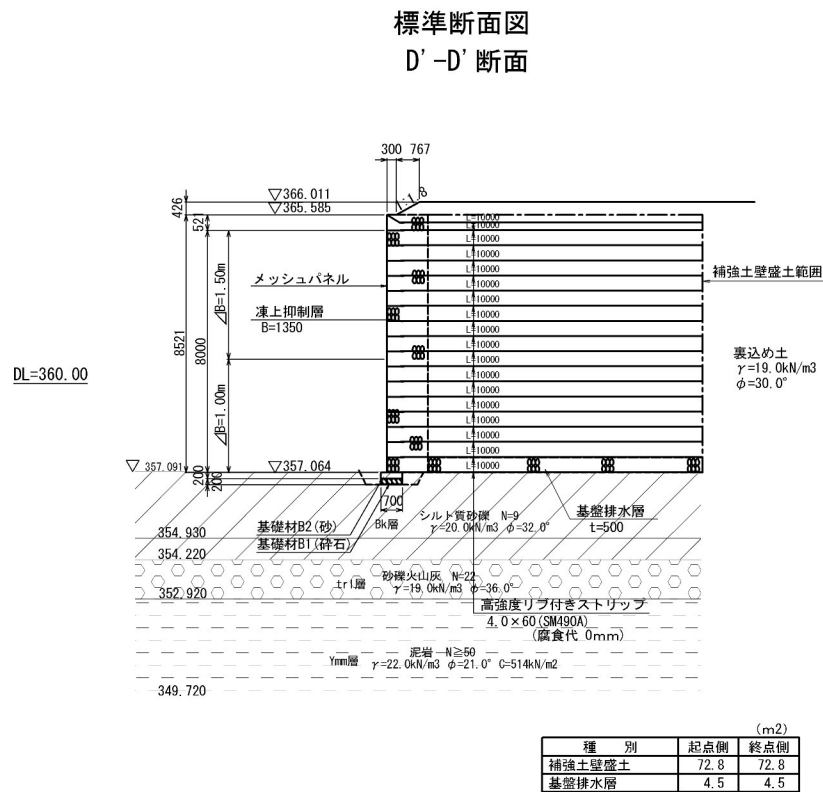
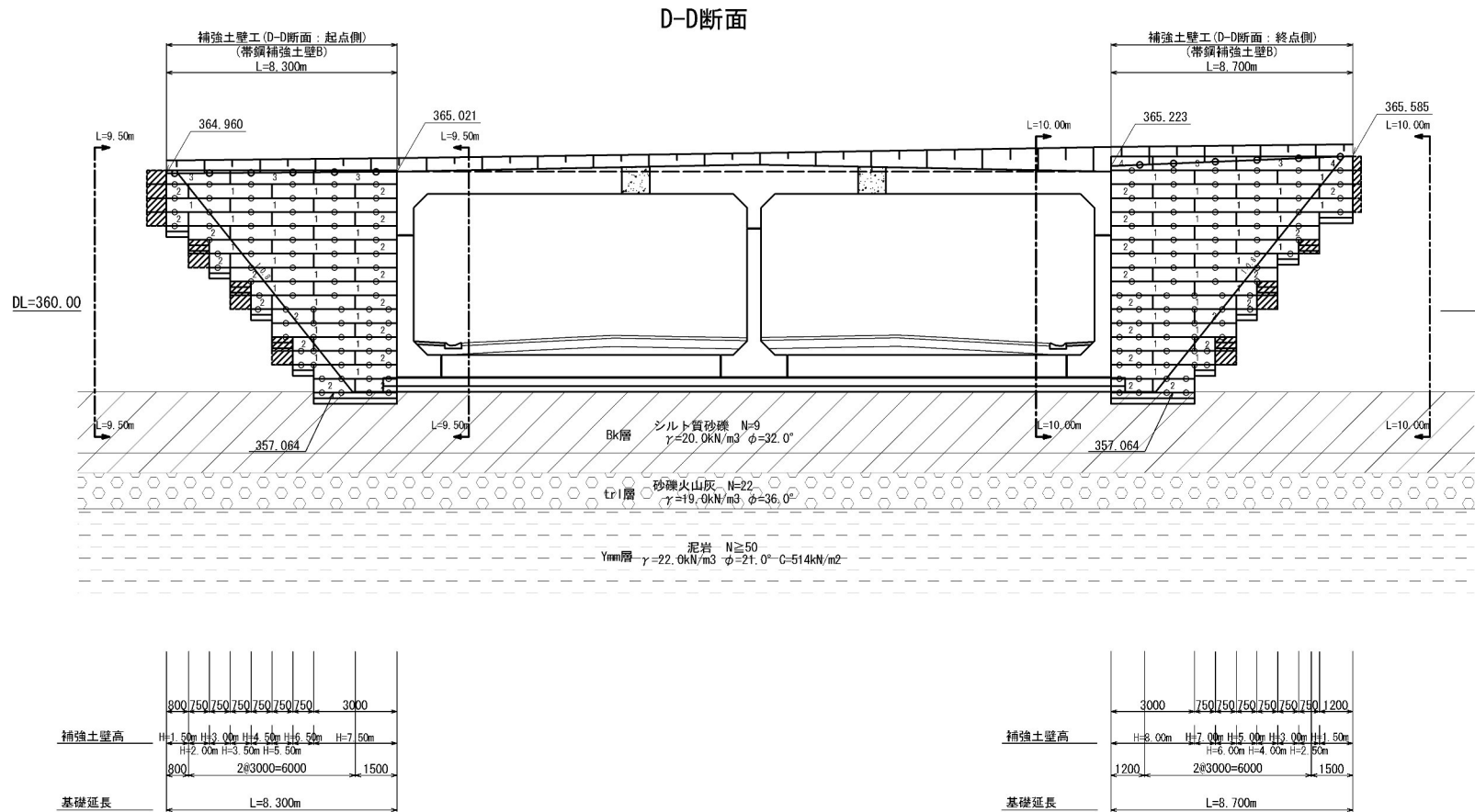


数量表

測 点		起点側	終点側	合 計
構造物掘削	普通部	m3 96.5	100.7	197.2
裏込め	B	m3 43.5	49.7	93.2
埋戻し	A	m3 24.2	24.7	48.9
控除土量	路 体	m3 23.0	29.1	52.1
基盤排水層	C-40	m3 12.9	13.6	26.5

道 東 自 動 車 道 占 冠 P A 工 事			
図面の種類	④補強土壁工横断図		
縮 尺	1:250	図面番号	-
設計会社名	株式会社 横浜コンサルティングセンター		
施工会社名			
事務所名	東日本高速道路株式会社 北海道支社 帯 広 工 事 事 務 所		

④補強土壁工詳細図（１） S=1：250  
（仮設ウイングSTA. 811+42.088 C-Bx(P)-(12.00+12.00)x5.80）



注) ○ 印は、リブ付きストリップの取り付け位置を示す。  
○ 印は、補助ストリップの取り付け位置を示す。  
☑ 印のパネルについては、パネル切斷を行い配置の事。  
(切斷後の廃パネルを構造物取合い部に設置し、背面土及び天端部(土のう設置箇所)のこぼれ出し防止対策に用いる事)

補強土壁工 設計条件

内的安定検討	最高壁高 (補強土壁高)	Hmax=8.00m	
	盛土材の土質定数	$\gamma=19.0\text{ kN/m}^3$ , $\phi=30^\circ$ , $c=0\text{ kN/m}^2$	
	土とストリップとの摩擦係数	$f=1.5\sim\tan 36^\circ$	
	設計水平震度	kh=0.14	
	安全率	常時	地震時
外的安定検討	ストリップの引抜けに対し	2.0	1.2
	盛土材の土質定数	$\gamma=19.0\text{ kN/m}^3$ , $\phi=30^\circ$ , $c=0\text{ kN/m}^2$	
	設計水平震度	kh=0.14	
	安全率	常時	地震時
	滑動に対して	1.50	1.20
全体安定検討	転倒に対しての安定条件 注1)	$e\leq L/6$	$e\leq L/3$
	支持力に対して	3.0	2.0
	盛土材の土質定数	$\gamma=19.0\text{ kN/m}^3$ , $\phi=30^\circ$ , $c=10\text{ kN/m}^2$	
	設計水平震度	kh=0.14	
	安全率	常時	地震時
すべり破壊に対して		1.25	1.00

注1) eは偏心距離, Lは補強土壁底面の幅

材 料 表

(D-D断面：起点側)				
項 目	番号	規 格	単 位	数 量
メッシュパネル メッキ付き	1	500×3000	枚	22
	2	500×1500	〃	17
	3	500×3000	〃	3 天端用
	4	500×1500	〃	2 天端用
補 強 土 壁 面 積			m <sup>2</sup>	50.250
高強度リブ付き ストリップ (SM490A) メッキ付き	※	4.0×60 L= 9.50 m	本	87 (L=9.65m)
補強材総延長 ΣL			m	826.50
※印は2本ジョイント				
ボルト、ナット	M12×40		本	261 メッキ付き
ダブルフック(ヘアピン含む)	W530 φ16		本	87 メッキ付き
透水防砂材	4.0×620		m	110
	4.0×250×250 (補助材)		枚	174
総壁面積(正面積) A=			50.25	- 3.65 = 46.60 m <sup>2</sup>
			(パネル面積)	(切斷面積)

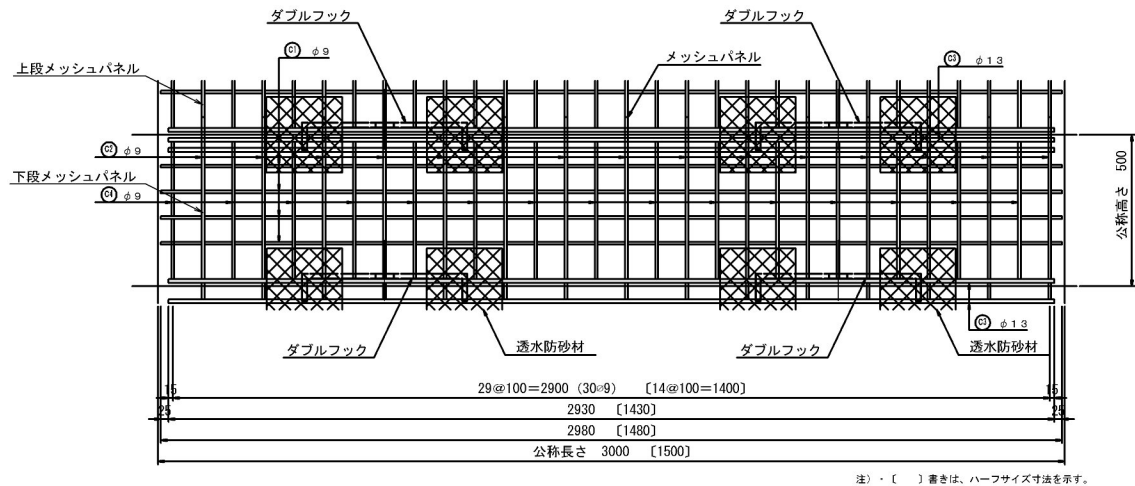
材 料 表

(D-D断面：終点側)				
項 目	番号	規 格	単 位	数 量
メッシュパネル メッキ付き	1	500×3000	枚	25
	2	500×1500	〃	15
	3	500×3000	〃	2 天端用
	4	500×1500	〃	2 天端用
補 強 土 壁 面 積			m <sup>2</sup>	53.250
高強度リブ付き ストリップ (SM490A) メッキ付き	※	4.0×60 L= 10.00 m	本	93 (L=10.15m)
補強材総延長 ΣL			m	930.00
※印は2本ジョイント				
ボルト、ナット	M12×40		本	279 メッキ付き
ダブルフック(ヘアピン含む)	W530 φ16		本	93 メッキ付き
透水防砂材	4.0×620		m	120
	4.0×250×250 (補助材)		枚	186
総壁面積(正面積) A=			53.25	- 2.48 = 50.77 m <sup>2</sup>
			(パネル面積)	(切斷面積)

道 東 自 動 車 道 占 冠 P A 工 事			
図面の種類	④補強土壁工詳細図（１）		
縮 尺	1:250	図面番号	-
設計会社名	株式会社 横浜コンサルティングセンター		
施工会社名			
事務所名	東日本高速道路株式会社 北海道支社 帯 広 工 事 事 務 所		

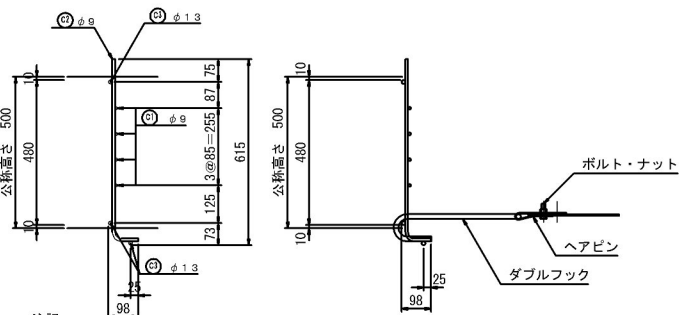
④補強土壁工詳細図（２） S=1：250  
（仮設ウイングSTA. 811+42. 088 C-Bx(P)-(12. 00+12. 00)x5. 80)

パネル立面図 S=1:10



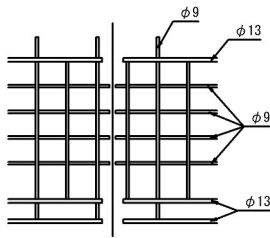
注) ・ ( ) 書きは、ハーフサイズ寸法を示す。

パネル断面図 S=1:10

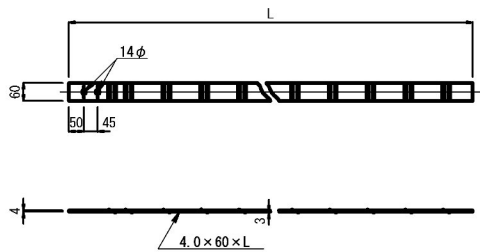


注記  
・公称長さは、平均厚 e = 4.0mm の本製くさびによる横ずれ防止工を含めた長さである。  
・公称面積とは、実際に法面を覆う面積である。

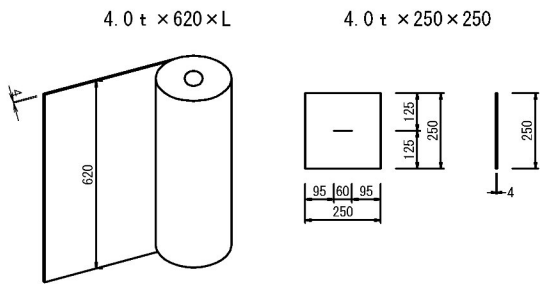
接合部詳細 S=1:10



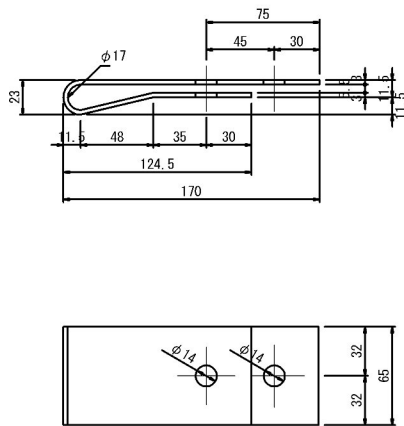
高強度リブ付ストリップ S=1：10  
材質SM490A



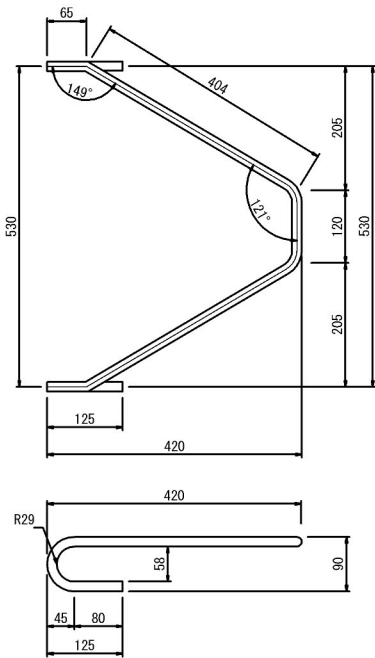
透水防砂材 S=1：10



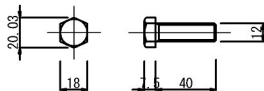
ヘアピン寸法図 S=1:2  
3 × 65 × 170



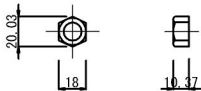
ダブルフック寸法図 S=1:5  
φ16



ボルト S=1：2  
M 1 2 × 4 0  
ボルト 強度区分8.8

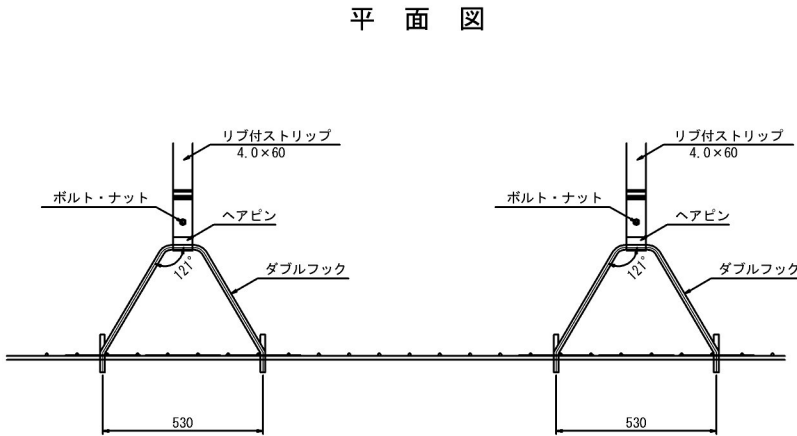


ナット S=1：2  
ナット 強度区分 8

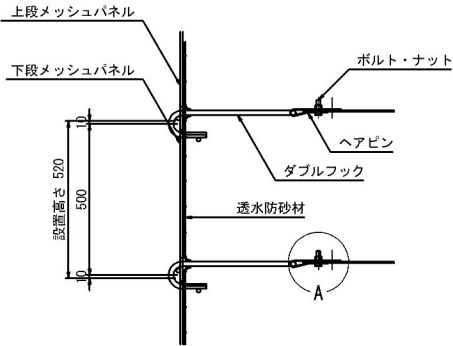


道 東 自 動 車 道 占 冠 P A 工 事			
図面の種類	④補強土壁工詳細図（２）		
縮 尺	図 示	図面番号	-
設計会社名	株式会社 横浜コンサルティングセンター		
施工会社名			
事務所名	東日本高速道路株式会社 北海道支社 帯 広 工 事 事 務 所		

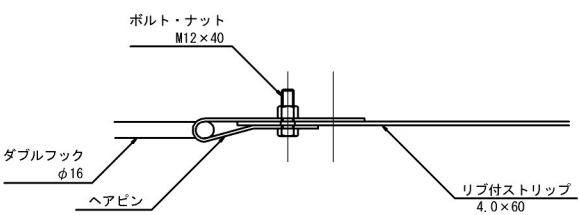
ダブルフック取付け位置図 S=1:10



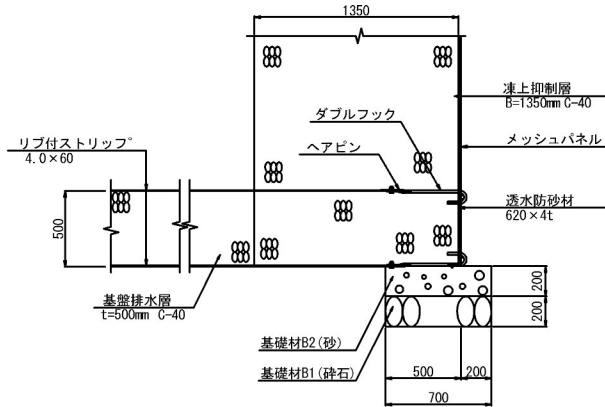
断面図



A部詳細図 S=1:3



基礎詳細図 S=1:20

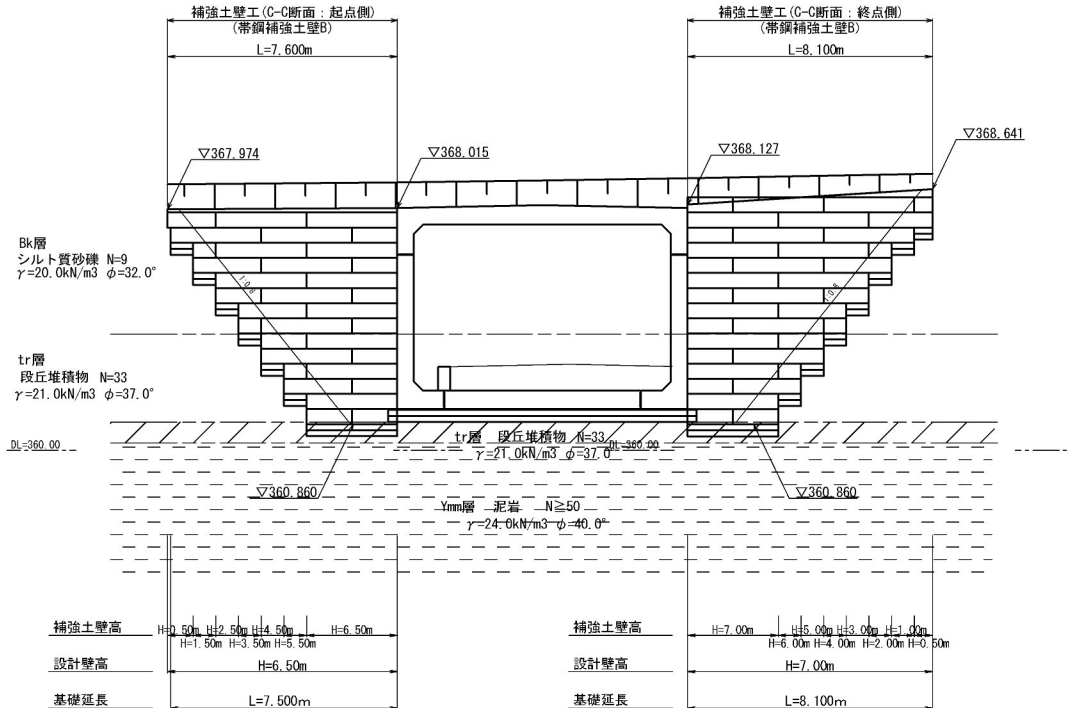


道 東 自 動 車 道 占 冠 P A 工 事			
図面の種類	④補強土壁工詳細図（3）		
縮 尺	図 示	図面番号	-
設計会社名	株式会社 横浜コンサルティングセンター		
施工会社名			
事務所名	東日本高速道路株式会社 北海道支社 帯 広 工 事 事 務 所		

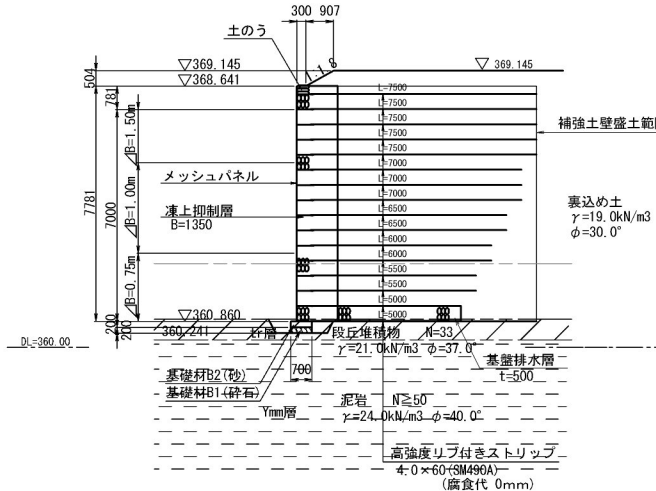


⑤補強土壁工一般図 S=1 : 250  
(仮設ウイングSTA. 818+91.720 C-Bx(P)-8.50x5.50)

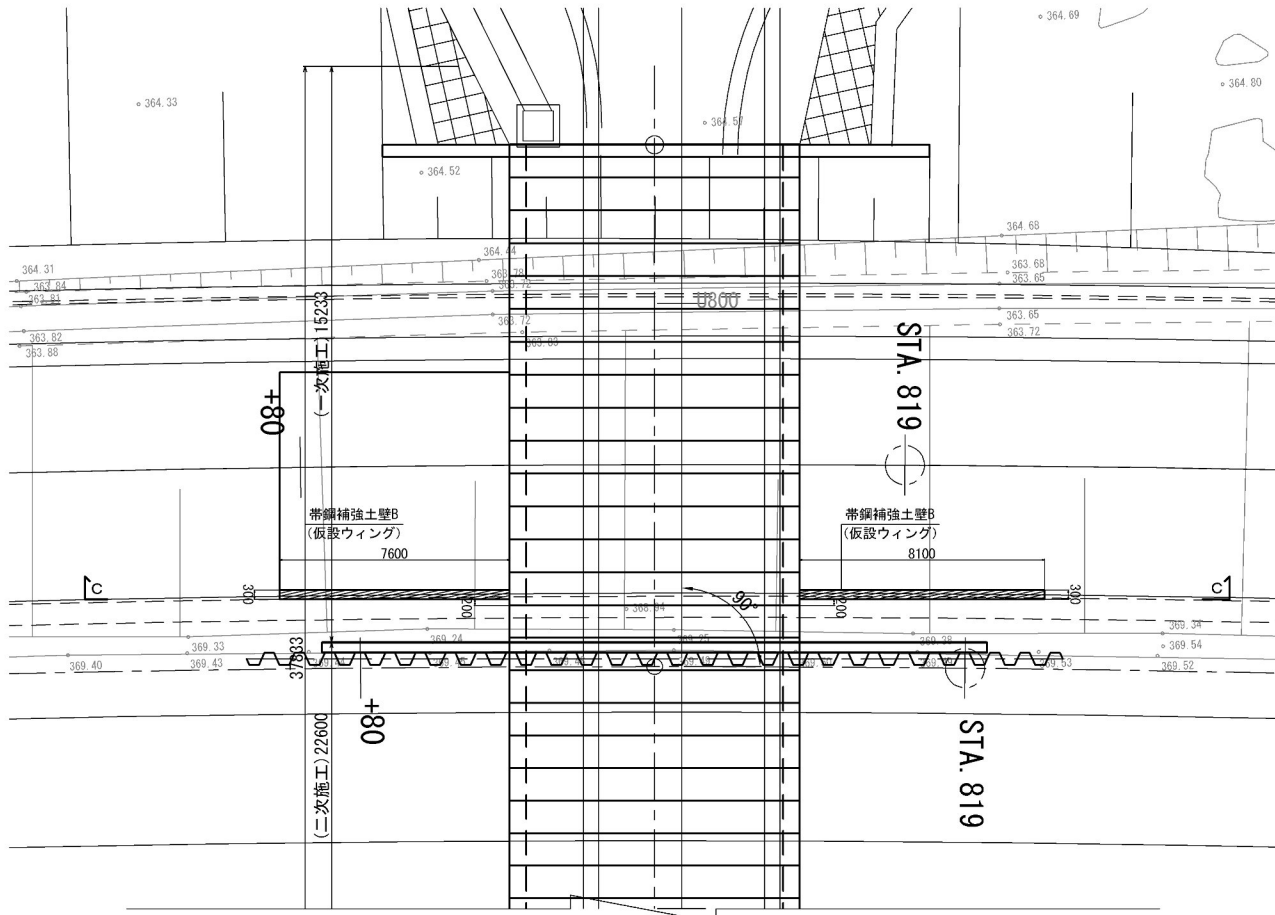
C-C断面



C'-C' 断面



平面图 S=1:25



補強土壁工数量表

項 目	種 別	規格・寸法	単位	数 量			摘 要
				C-C: 起点	C-C: 終点	合 計	
常鋼補強土壁B	メッシュパネル		m2	36.8	41.1	77.9	
基 礎 材	B2(砂)		m3	1.1	1.1	2.2	
	B1(砕石)	RC-40	m3	1.1	1.1	2.2	
基盤排水層	C-40		m3	6.1	6.1	12.2	
盛土工A3	凍上抑制層		m3	49.7	55.5	105.2	
構造物掘削	普通部A		m3	77.3	81.5	158.8	土砂
	埋戻し		m3	21.4	22.5	43.9	
裏込め	裏込めB		m3	25.3	29.1	54.4	現地発生材
	補強土壁盛土		m3	249.8	289.9	539.7	現地発生材

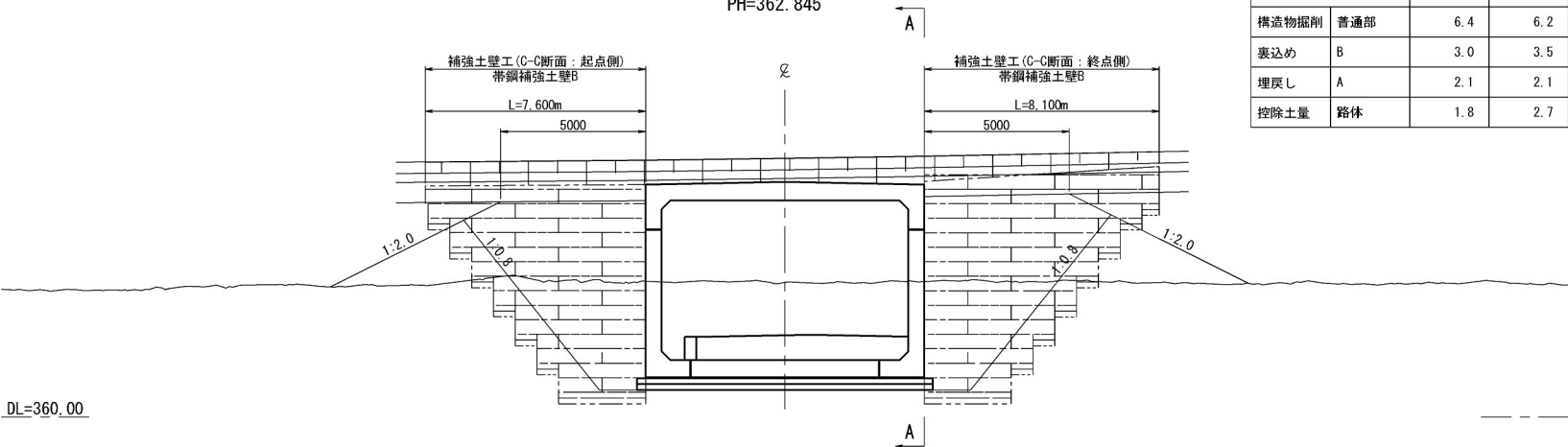
道 東 自 動 車 道 占 冠 P A 工 事			
図面の種類	⑤補強土壁工一般図		
縮 尺	1:250	図面番号	-
設計会社名	株式会社 横浜コンサルティングセンター		
施工会社名			
事務所名	東日本高速道路株式会社 北海道支社 帯 広 工 事 事 務 所		

⑤補強土壁工横断図 S=1 : 250  
(仮設ウイングSTA. 818+91. 720 C-Bx(P)-8. 50x5. 50)

横断図

3-3

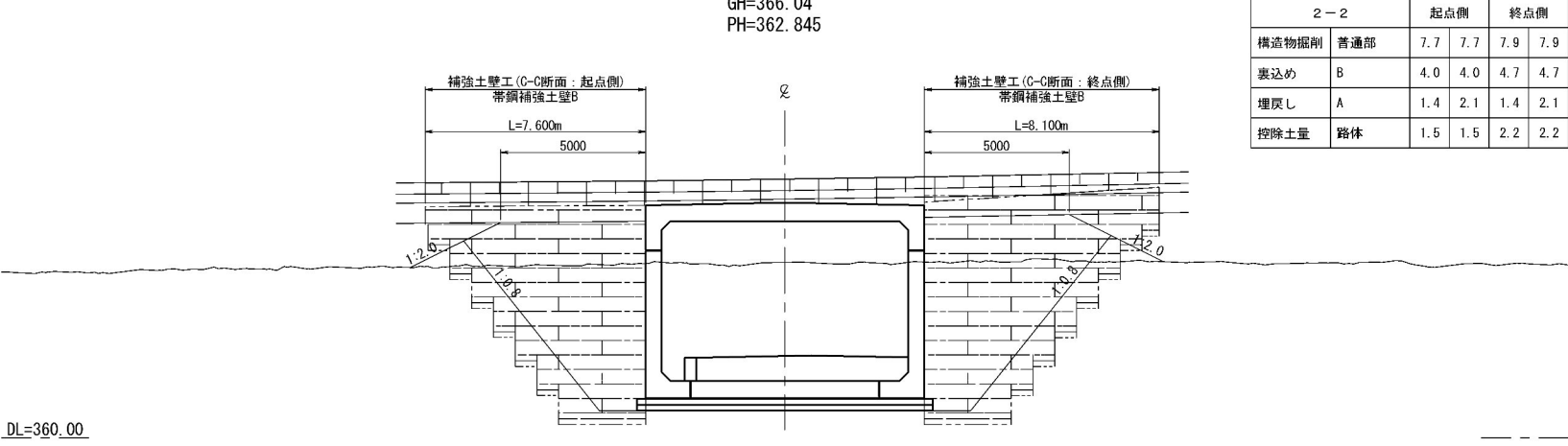
STA. 0+7. 110  
GH=364. 65  
PH=362. 845



DL=360.00

2-2

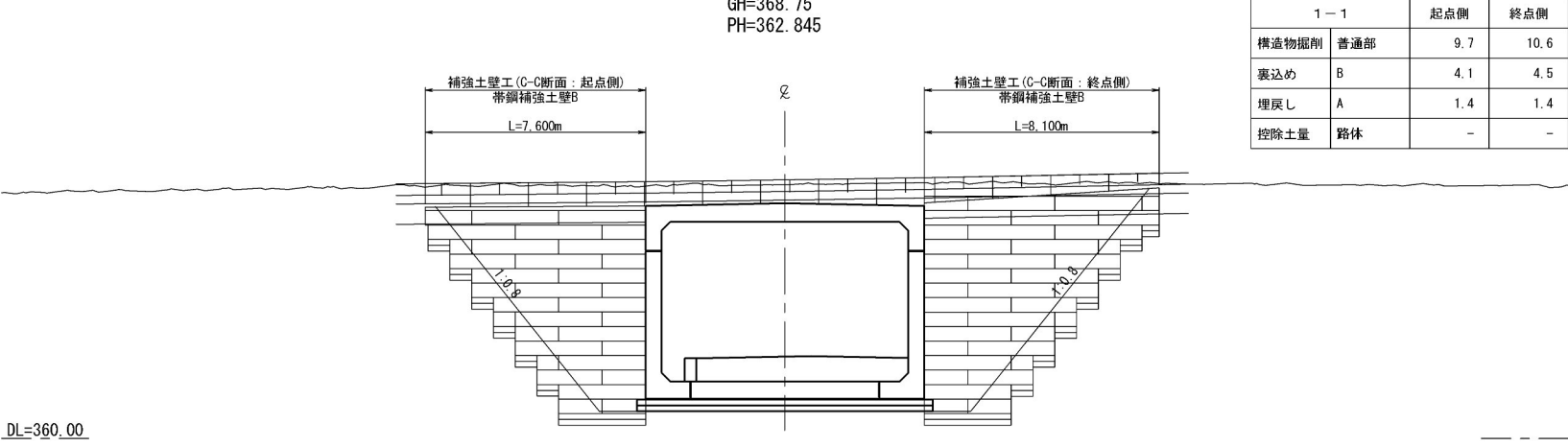
STA. 0+9. 610  
GH=366. 04  
PH=362. 845



DL=360.00

1-1

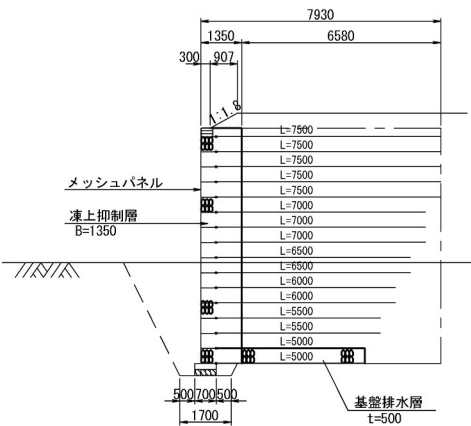
STA. 0+15. 040  
GH=368. 75  
PH=362. 845



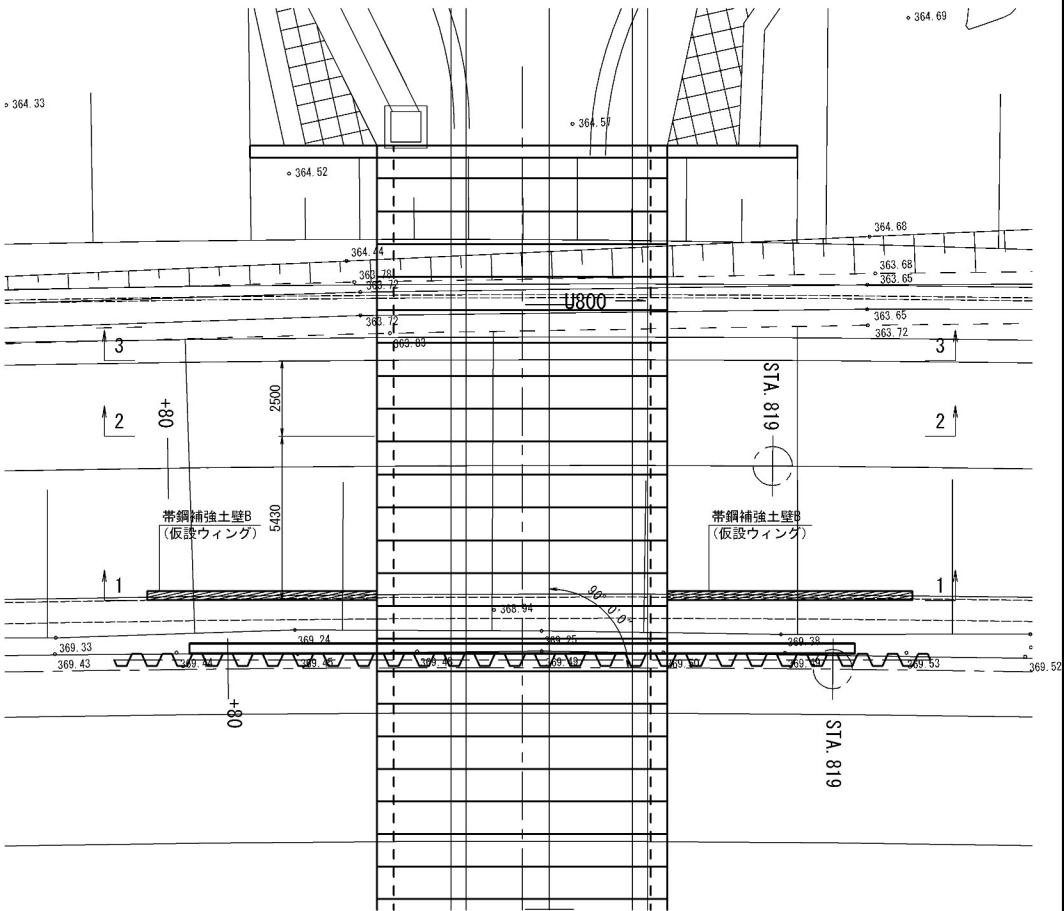
DL=360.00

断面図

A-A



位置図



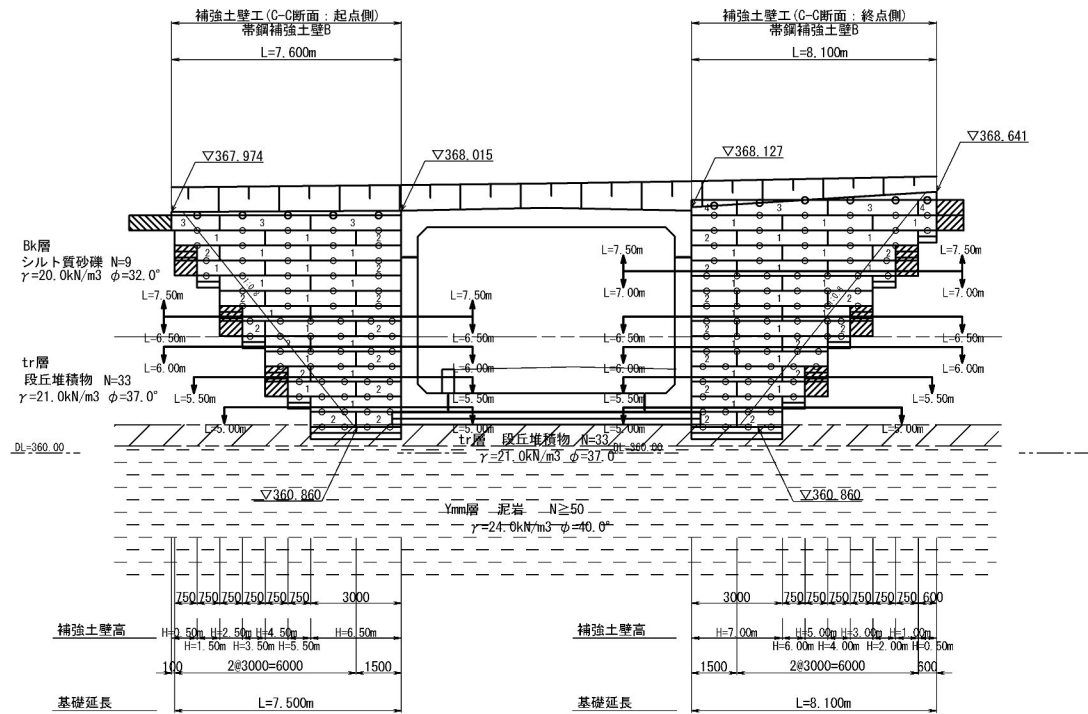
数量表

測 点		起点側	終点側	合 計
構造物掘削	普通部	m3 77. 3	81. 5	158. 8
表込め	B	m3 25. 3	29. 1	54. 4
埋戻し	A	m3 21. 4	22. 5	43. 9
控除土量	路 体	m3 8. 2	12. 1	20. 3
基盤排水層	C-40	m3 6. 1	6. 1	12. 2

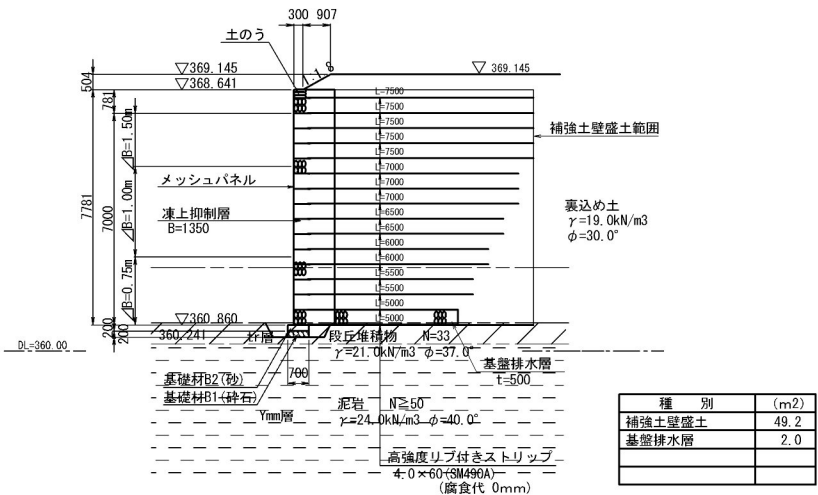
道 東 自 動 車 道 占 冠 P A 工 事			
図面の種類	⑤補強土壁工横断図		
縮 尺	1:250	図面番号	-
設計会社名	株式会社 横浜コンサルティングセンター		
施工会社名			
事務所名	東日本高速道路株式会社 北海道支社 帯 広 工 事 事 務 所		

⑤補強土壁工詳細図（１） S=1：250  
(仮設ウイングSTA. 818+91.720 C-Bx(P)-8.50x5.50)

C-C断面



C'-C'断面



注) ○ 印は、リブ付きストリップの取り付け位置を示す。  
○ 印は、補助ストリップの取り付け位置を示す。  
☑ 印のパネルについては、パネル切断を行い配置の事。  
(切断後の廃パネルを構造物取合い部に設置し、背面土及び  
天端部(土のう設置箇所)のごぼれ出し防止対策に用いる事)

補強土壁工 設計条件

内的 安定 検討	最高壁高 (補強土壁高)	hmax=7.00m	
	盛土材の土質定数	$\gamma=19.0\text{kN/m}^3$ , $\phi=30^\circ$ , $c=0\text{kN/m}^2$	
	土とストリップとの摩擦係数	$f=1.5\sim\tan 36^\circ$	
	設計水平震度	kh=0.14	
	安全率	常時	地震時
外的 安定 検討	ストリップの引抜けに対し	2.0	1.2
	盛土材の土質定数	$\gamma=19.0\text{kN/m}^3$ , $\phi=30^\circ$ , $c=0\text{kN/m}^2$	
	設計水平震度	kh=0.14	
	安全率	常時	地震時
	滑動に対して	1.50	1.20
全体 安定 検討	転倒に対しての安定条件 注1)	$e\leq L/6$	$e\leq L/3$
	支持力に対して	3.0	2.0
	盛土材の土質定数	$\gamma=19.0\text{kN/m}^3$ , $\phi=30^\circ$ , $c=10\text{kN/m}^2$	
	設計水平震度	kh=0.14	
	安全率	常時	地震時
	すべり破壊に対して	1.25	1.00

注1) eは偏心距離、Lは補強土壁底面の幅

材 料 表

項 目	番号	規 格	単 位	数 量	摘 要
メッシュパネル メッキ付き	1	500×3000	枚	17	
	2	500×1500	"	13	
	3	500×3000	"	3	天端用
	4	500×1500	"	-	天端用
補 強 土 壁 面 積			m <sup>2</sup>	39.75	
高強度リブ付き ストリップ (SM490A) メッキ付き	4.0×60	L= 5.00 m	本	8	
	4.0×60	L= 5.50 m	本	10	
	4.0×60	L= 6.00 m	本	10	
	4.0×60	L= 6.50 m	本	12	
	4.0×60	L= 7.50 m	本	33	
	補強材総延長 ΣL		m	480.50	
ボルト、ナット	M12×40		本	73	メッキ付き
ダブルフック(ヘアピン含む)	W530 φ16		本	73	メッキ付き
透水防砂材	4.0×620		m	90	
	4.0×250×250 (補助材)		枚	146	
土のう	1袋当りの正面積A=0.03m <sup>2</sup>		袋	34	1.0m <sup>2</sup>
総壁面積(正面積) A= 39.75 - 2.95 = 36.80 m <sup>2</sup>					(パネル面積) (切断面積)

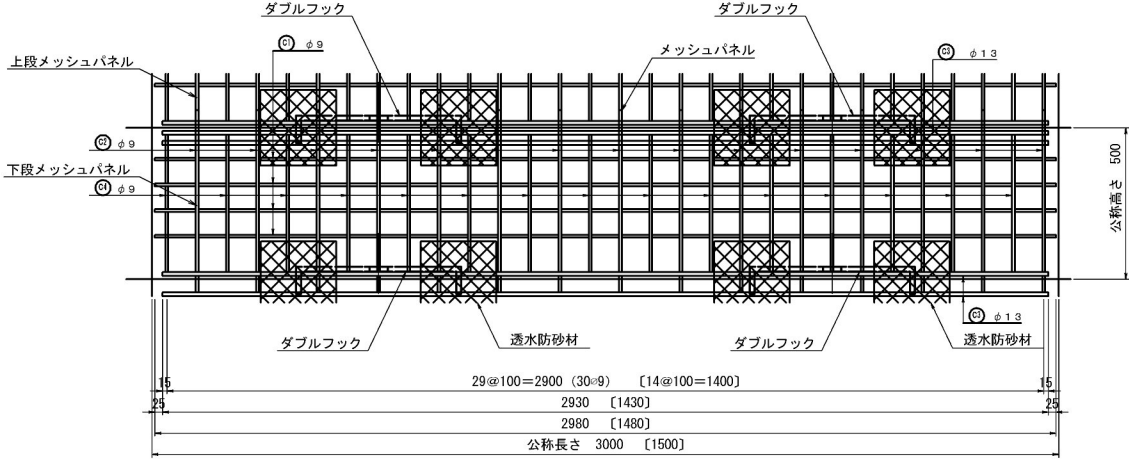
材 料 表

項 目	番号	規 格	単 位	数 量	摘 要
メッシュパネル メッキ付き	1	500×3000	枚	20	
	2	500×1500	"	13	
	3	500×3000	"	2	天端用
	4	500×1500	"	2	天端用
補 強 土 壁 面 積			m <sup>2</sup>	44.25	
高強度リブ付き ストリップ (SM490A) メッキ付き	4.0×60	L= 5.00 m	本	8	
	4.0×60	L= 5.50 m	本	10	
	4.0×60	L= 6.00 m	本	11	
	4.0×60	L= 6.50 m	本	12	
	4.0×60	L= 7.00 m	本	19	
	4.0×60	L= 7.50 m	本	28	
補強材総延長 ΣL			m	582.00	
ボルト、ナット	M12×40		本	88	メッキ付き
ダブルフック(ヘアピン含む)	W530 φ16		本	88	メッキ付き
透水防砂材	4.0×620		m	100	
	4.0×250×250 (補助材)		枚	176	
土のう	1袋当りの正面積A=0.03m <sup>2</sup>		袋	24	0.7m <sup>2</sup>
総壁面積(正面積) A= 44.25 - 3.15 = 41.10 m <sup>2</sup>					(パネル面積) (切断面積)

道 東 自 動 車 道 占 冠 P A 工 事			
図面の種類	⑤補強土壁工詳細図（１）		
縮 尺	1:250	図面番号	-
設計会社名	株式会社 横浜コンサルティングセンター		
施工会社名			
事務所名	東日本高速道路株式会社 北海道支社 帯 広 工 事 事 務 所		

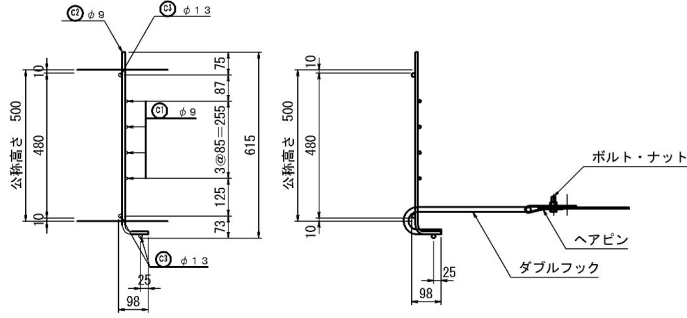
⑤補強土壁工詳細図(2) S=1:250  
(仮設ウイングSTA.818+91.720 C-Bx(P)-8.50x5.50)

パネル立面図 S=1:10

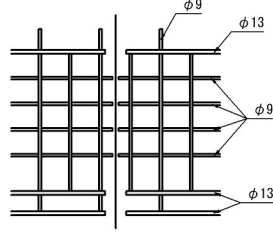


注)・〔 〕書きは、ハーフサイズ寸法を示す。

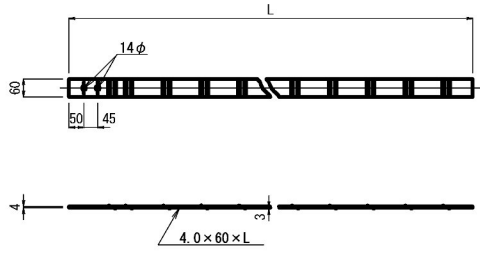
パネル断面図 S=1:10



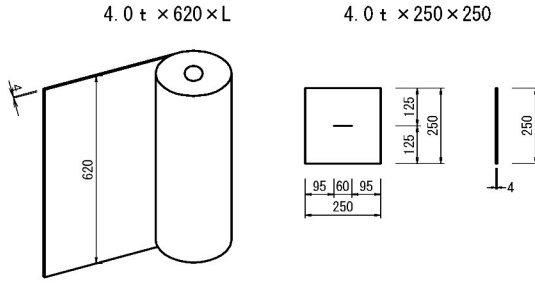
接合部詳細 S=1:10



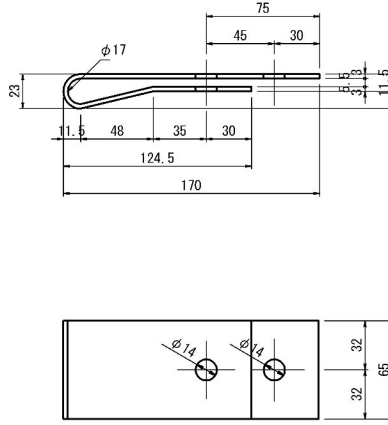
高強度リブ付ストリップ<sup>°</sup>S=1:10  
材質SM490A



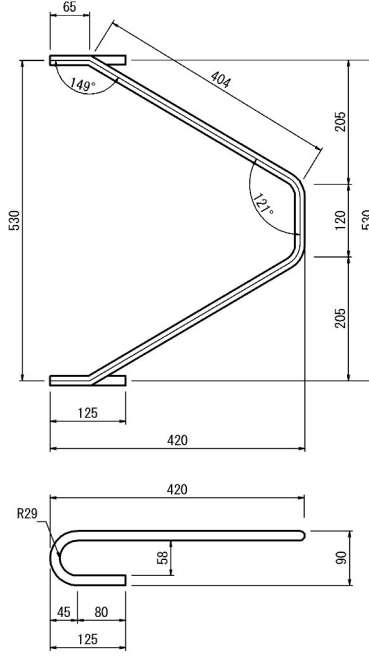
透水防砂材 S=1 : 10



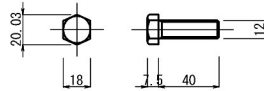
ヘアピン寸法図 S=1:2  
3×65×170



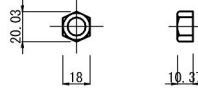
ダブルフック寸法図 S=1:5  
φ16



ボルト S=1 : 2  
M 1 2 × 4 0  
ボルト 強度区分 8. 8

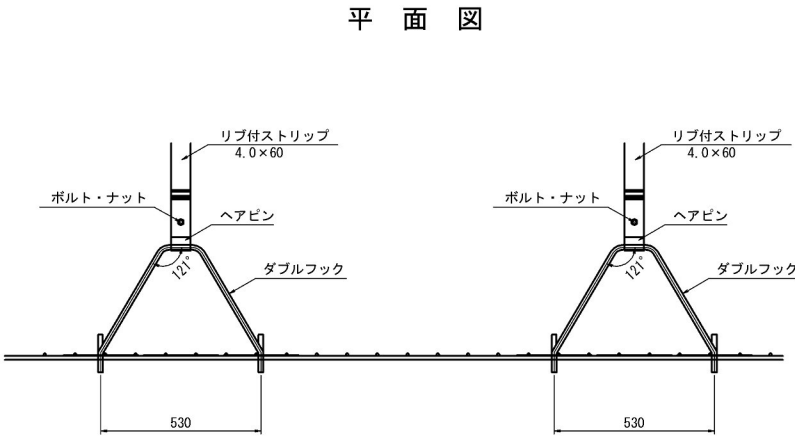


ナット S=1 : 2  
ナット 強度区分 8

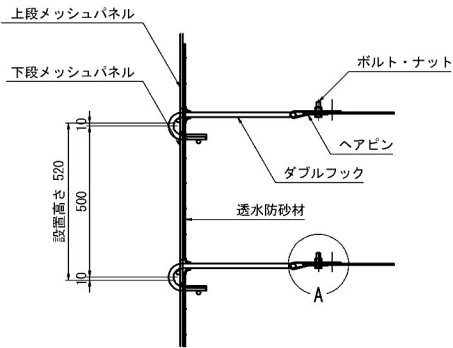


道 東 自 動 車 道 占 冠 P A 工 事			
図面の種類	⑤補強土壁工詳細図（２）		
縮 尺	1:250	図面番号	-
設計会社名	株式会社 横浜コンサルティングセンター		
施工会社名			
事務所名	東日本高速道路株式会社 北海道支社 帯 広 工 事 事 務 所		

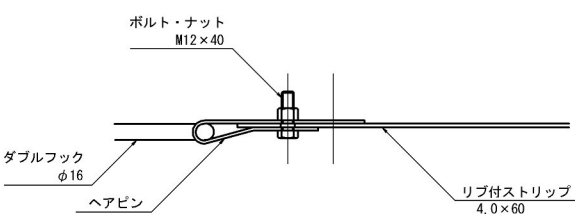
ダブルフック取付け位置図 S=1：10



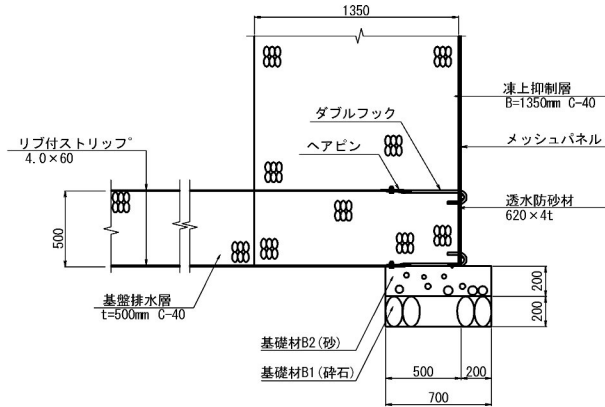
断面図



A部詳細図 S=1：3



基礎詳細図 S=1：20



道東自動車道 占冠PA工事			
図面の種類	⑤補強土壁工詳細図（3）		
縮尺	1：250	図面番号	-
設計会社名	株式会社 横浜コンサルティングセンター		
施工会社名			
事務所名	東日本高速道路株式会社 北海道支社 帯広工務所		